地球のいのち、つないでいこう

わたしたちは生物多様性の保全に配慮しています

SEKISUI JUSHI CORPORATION

安全・安心・環境をこれからも

SEKISUI JUSHI 2014年 創立60周年

積水樹脂グループ 環境・社会報告書

Environmental & Social Report 2014

積水樹脂株式会社

積水樹脂株式会社

本　社

〒530-8565　大阪市北区西天満2丁目4番4号 堂島関電ビル6F
TEL:06(6365)3204　FAX:06(6365)7181
URL:http://www.sekisuijushi.co.jp/

東京本社

〒105-0022　東京都港区海岸1丁目11番１号 ニューピア竹芝ノースタワー12F
TEL:03(5400)1801　FAX:03(5400)1833

お問い合せ先

コーポレート部

〒530-8565　大阪市北区西天満2丁目4番4号 堂島関電ビル6F
TEL:06(6365)3288　FAX:06(6365)7181

評価・環境管理部

〒520-2596　滋賀県蒲生郡竜王町大字鏡字谷田731-1
TEL:0748(58)2488　FAX:0748(58)3326

当社は、「国連生物多様性の10年日本委員会」の取り組みに協賛しております。

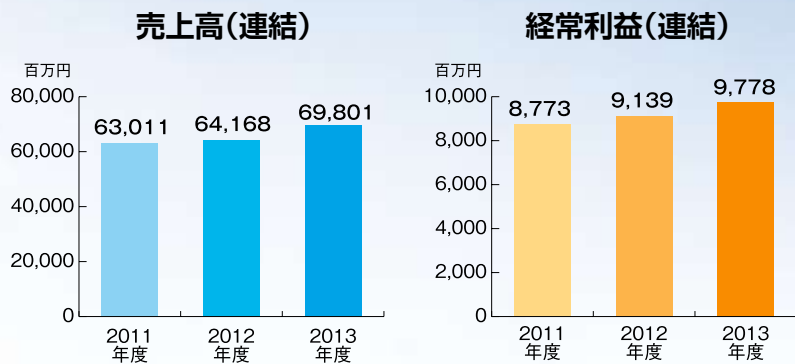
当社は、「公益財団法人 交通遺児育英会」の活動に協賛しております。

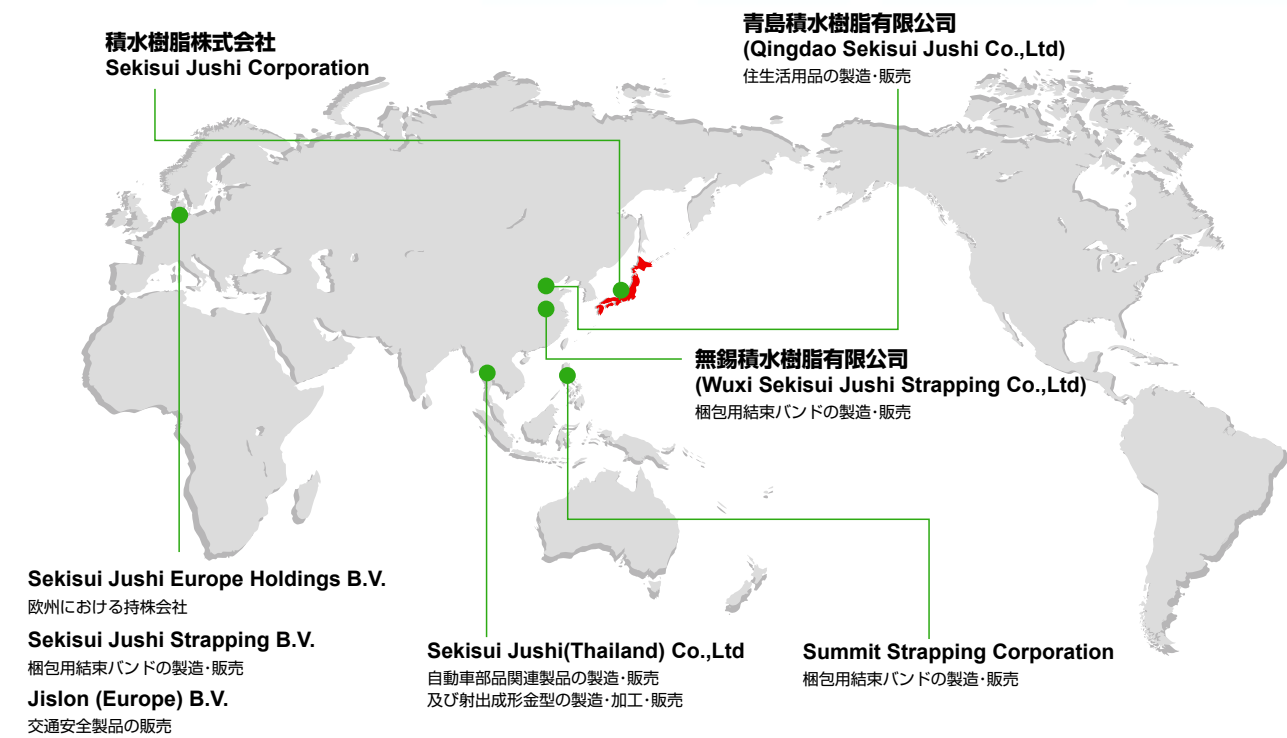
この冊子は天然植物油脂大豆油インキで印刷しています

発行/2014年8月

積水樹脂グループは、価値ある製品の創造を通じて社会の福祉と進歩に貢献します

会社概要（2014年3月31日現在）

社名	積水樹脂株式会社
本店所在地	〒530-8565 大阪市北区西天満二丁目4番4号
設立年月日	1954年(昭和29年)11月26日
代表者	福井 彌一郎（代表取締役社長）
URL	http://www.sekisuijushi.co.jp/
資本金	12,334百万円
売上高(連結)	69,801百万円
経常利益(連結)	9,778百万円
従業員数(連結)	1,414名
連結対象子会社	32社
持分法適用会社	2社

積水樹脂グループのグローバルネットワーク

海外グループ会社(グローバル)

国内グループ会社

東北積水樹脂株式会社（宮城）
関東積水樹脂株式会社（群馬）
積水樹脂キャップアイシステム株式会社（東京）
積水樹脂プラメタル株式会社（長野）
エスジェイシー寿株式会社（三重）
スペーシア株式会社（滋賀）
オーミテック株式会社（滋賀）
積水樹脂電子テクノ株式会社（滋賀）
積水樹脂商事株式会社（大阪）
積水樹脂産商株式会社（大阪）
サンエイポリマー株式会社（山口）
宮崎積水樹脂株式会社（宮崎）
ロードエンタープライズ株式会社（鹿児島）
土浦つくば積水樹脂株式会社（茨城）
北陸積水樹脂株式会社（石川）
滋賀積水樹脂株式会社（滋賀）
広島積水樹脂株式会社（広島）
その他機能分社会社

Contents

本報告書の対象

■対象期間

2013年度（国内グループ会社は2013年4月1日から2014年3月31日まで／海外グループ会社は2013年1月1日から2013年12月31日まで）

※重要事項については、2013年度以前・以降のものも報告しています。

■対象範囲

積水樹脂株式会社および連結対象の国内・海外グループ会社

※重要事項については、上記以外の海外グループ会社についても対象としています。

表紙について

表紙では、当社グループにおける実際の環境保全活動の写真を使用しています。

・滋賀森林保全活動
・石川森づくり活動
・長野森林整備活動
・琵琶湖ヨシ刈り活動

編集方針

本報告書は、積水樹脂グループの環境・社会活動についてご報告するとともに、環境・社会活動のさらなる向上を目指し、ステークホルダーのみなさんとコミュニケーションをはかることを目的として発行しています。
また、本報告書は会社案内も兼ねて作成し、当社グループの理念、事業活動、製品等についても報告しています。
なお、掲載項目については、環境省「環境報告ガイドライン(2012年度版)」を参考にしながら、当社グループの活動に照らして、重要な項目に絞り報告しています。

おかげさまで、積水樹脂は2014年11月に創立60周年を迎えます。これからも、安全・安心・環境保全を通じて社会に貢献できる企業グループを目指します。

代表取締役社長
福井彌一郎

経営理念がCSR経営の原点です

おかげさまで、積水樹脂は、2014年11月に創立60周年を迎えます。私どもが事業を継続してこられたのは、ひとえに、多くの皆様のご支援、ご厚情の賜物と、心から御礼申し上げます。

私たち積水樹脂グループは、創立以来『価値ある製品の創造を通じて社会の福祉と進歩に貢献する』という経営理念のもと、「安全・安心」と「環境保全」に貢献することを基軸に、幅広い分野で事業に取り組んでまいりました。

例えば近年、通学路で子供たちが巻き込まれる痛ましい事故が相次いだことを受けて「生活道路における安全の確保」は重大な社会的課題となっております。当社は、長く培ってきた技術力と提案力を活かした交通安全資材、防護柵をはじめとする製品を通じて、この課題への解決策の提供につとめております。

生活道路における安全の確保以外にも、「復興・減災」への整備・対策や、「高齢化」・「グローバル化」・「環境汚染」の進行など、私たちを取り巻く環境は以前よりも急速に変化しています。こうした環境の変化に、スピードをもって対応し、事業活動を通じて一つひとつ社会の課題を解決できる企業であり続けたいと考えております。

環境マネジメントの範囲を海外にも拡大

環境活動としましては、「第5次環境3ヵ年計画(2013～2015年度)」を策定し、新たに海外の事業所も対象範囲に含めて環境マネジメントに取り組んでおります。また、2013年度は、「国連生物多様性の10年日本委員会」の活動支援や森林保全活動を継続するとともに、タイ王国においてマングローブ植林活動に参加するなど、生物多様性の保全に向けた活動の幅を広げてまいりました。

社会貢献活動も積極的に

社会貢献活動としましては、創立60周年記念事業の一環として2013年度に東日本を中心に開催しましたサッカースクールを、2014年度は西日本を中心に開催し、青少年育成に向けた取り組みを引き続き行っております。また、「公益財団法人 交通遺児育英会」に製品の収益の一部を寄付する取り組みも継続して行いました。今後も企業としての社会的責任を果たしてまいります。

当社グループは、多岐にわたる社会の要請に応えて、CSR(企業の社会的責任)からCSV(共有価値の創造)へとその取り組みを発展させるべく、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを一層深めていきたいと考えております。

今後とも、貴重なご意見、ご指導をいただければ幸いでございます。

経営理念

積水樹脂株式会社は、プラスチックと金属、繊維その他の物質とを結びつけた、価値ある製品の創造を通じて社会の福祉と進歩に貢献し、会社の限りなき発展と従業員の豊かな生活を実現する。

経営理念を補完するべく、目指すべき姿を明確化

経営ビジョン2020(2010年策定)

『価値ある製品の創造を通じて"世界の安全・安心" "地球環境の保全"に貢献し、世界中の人々に信頼され、感動を提供し続ける企業グループ』を目指します。

～*Hybrid Value Company* を目指して～

独自の技術により特色ある製品の事業化をはかっています

公共分野

交通環境資材事業

太陽電池や電子技術、防音・遮音技術などを駆使し、時代のニーズに応える製品が、"安全・安心"なまちづくりや道路周辺の景観性向上に貢献します。

防音壁材

トンネル吸音内装板

道路標識

路側標識（避難誘導）＋ソーラールミT2

サイン・看板

観光案内サイン

路面標示材

ソリッドシート

保安用品

ポールコーンガード

太陽電池製品、電子システム製品

ブリンカーフラッシュ

道路反射鏡

ハイドロクリーンミラー

交通安全資材

デリニエーター

スポーツ施設事業

耐久性・メンテナンス性を兼ね備えた人工芝「ドリームターフ」は、その品質が評価され、プロサッカーチームをはじめとする国内外の様々なグラウンドにご採用いただいています。

スポーツ用人工芝

ドリームターフ「cool」（サッカー場）

ドリームターフ「cool」（小学校グラウンド）

エクステリア用人工芝

ガーデングラス

民間分野

住建事業

景観に調和するシンプルなデザインでありながら、騒音などの住環境を取り巻く諸問題の対策に貢献する高機能製品を提供しています。

メッシュフェンス

G10 忍び返し

めかくし塀

K型

自転車置場

GS シリーズ

メッシュストッカー

大型メッシュストッカー

緑化フェンス

めかくし塀M型 緑化タイプ

縦格子フェンス

ET50HC

人工木・建材事業

自然との調和をコンセプトに、独自の技術から生まれた人工木材やラミネート技術と樹脂配合技術から生まれ、軽さと強さを実現した「メタカラー建材」「プラメタル」が建築内外空間を美しく演出します。

人工木材

スーパーオレンジウッド

角型テンダーウッド

手すり製品

アプローチEレール

装飾建材

メタカラー建材（建築内装材）

建材製品

プラメタル（建築外装材）

公共分野

景観資材事業

美しいまちづくりに貢献する高い意匠性と安全機能。これからの「人中心のみちづくり」におけるさまざまなシーンで、"安全・安心"に貢献する製品を提供しています。

ソーラー関連製品（照明灯）

ソーラーセーフティ

防護柵

フレックスロープ（手摺柵）

車止め

テーパータイプ弾性車止め DK-10

組立歩道

擁壁用階段システム

高欄

補修高欄 ビューレイルマックス

公園資材

かまどベンチ

シェルター

TS-300R

民間分野

総合物流資材事業

国内外でのトップシェアを占める梱包用結束バンド「PPバンド」をはじめ、梱包資機材、デジタルピッキングシステムなど多彩な製品を品揃えし、物流資材の総合メーカーとして、作業の効率化・合理化に貢献します。

梱包用結束バンド・フィルム

そうバンド

ゆうバンド

梱包資機材

ストレッチフィルム梱包機

デジタルピッキングシステム

キャップアイシステム（物流作業支援システム）

組立システムパイプ

スペーシア（イベント会場柵）

スペーシア（仮設駐車場柵）

自動車部品関連製品

ドア内装　車内ミラー

アグリ事業

人や環境にやさしく、工夫やアイデアを盛り込んだ農業・施設園芸資材が、快適な農業環境づくりに貢献します。

農業資材

イボ竹（農園芸用支柱）

菜園アーチ支柱

施設園芸資材

若竹（農園芸用支柱）

獣害柵

住生活資材事業

人や環境にやさしく、機能的な製品。斬新なデザインの生活用品が、豊かな生活環境づくりに貢献します。

ものほし用品

らくくみ（ステンレスものほしスタンド）

あいツリー（つっぱり式ものほし）

収納用品

瞬着 ブラックシリーズ（つっぱり式収納）

家庭用日用品

ゆくりん（お風呂用皮脂取り）

世界の“安全・安心”“地球環境の保全”に貢献できる企業グループを目指し、グローバル展開を進めています

2013年度のグローバル展開

セキスイジュシプラメタル(タイランド)設立・生産工場の建設開始

積水樹脂プラメタル㈱が、東南アジア地域におけるアルミ樹脂積層複合板事業の拡大を目指し、2013年9月にタイ王国に子会社を設立。2014年5月には、生産工場の建設に着工しました。

新生産工場完成イメージ

TOPICS

「K2013」に出展

初出展

2013年10月に、ドイツ デュッセルドルフで開催された世界最大規模の「国際プラスチック・ゴム専門見本市(K2013)」に当社グループ製品を初出展しました。

国際プラスチック・ゴム専門見本市(K2013)の様子

「インタートラフィック」に出展

2014年3月に、道路交通インフラ等の展示会「インタートラフィック・アムステルダム2014」に本年も継続して出展し当社グループの製品を世界に発信しました。

インタートラフィック・アムステルダム2014の様子

主な交通安全製品の採用事例

世界各国の多様な交通安全基準に適合する製品の開発・提案を行っています。

GreatBritain

ポールコーン NSタイプ

France

ポールコーンサイン

Belgium

ハイドロクリーンミラー

Monaco

弾性車止め DK-7

Netherlands

アイランドブロック

Spain

自発光注意喚起灯+標識

Switzerland

ハイドロクリーンミラー

Sweden

ソリッドシート

Italy

弾性車止め DK-7

Denmark

ポールコーン NSタイプ

Austria

ポールコーン(特)　ポールコーンサイン

Croatia

弾性車止め DK-7

60周年記念特集 事業を通じた社会貢献

安全・安心・環境をこれからも

おかげさまで、積水樹脂は2014年11月に創立60周年を迎えます。
当社は、「安全・安心」「環境保全」をキーワードに、時代のニーズに応える様々な製品の提案を通じて、今まで以上に多岐にわたる分野で社会に貢献してまいります。
この特集ページでは、当社の「事業を通じた社会貢献」を、事業分野別にご紹介します。

安全　環境　安心

安全・安心・環境をこれからも
60th
SEKISUI JUSHI
2014年 創立60周年

交通環境資材事業

太陽電池や電子技術、防音・遮音技術などを駆使し、時代のニーズに応える製品が、"安全・安心"なみちづくりや道路周辺の景観性向上に貢献します。

インフラ整備に必要な高耐久、高品質な保安用品、道路標識、路面標示・カラー舗装材、防音壁などをご提供することで、生活空間の安全・安心に貢献しています。また、「太陽光発電システム＋省電力設計」を生かした自発光技術により、これからの社会へ対応する製品開発に注力しています。

生活道路安全対策

視覚効果で車両の走行速度を抑制。

支柱部だけでなく横ビームも弾性体の門型車線分離標が、歩行者の乱横断を抑止。

事故危険箇所対策

横断歩道へのソリッドシートのテスト施工を実施。
ドライバーへの注意喚起を行う事故防止の新たな対策として新聞やテレビで多数取り上げられるなど注目を集めています。

夜間に規制標識をLED回転発光で目立たせることで、ドライバーに注意喚起します。

自転車道安全対策

色彩と路面ピクト標示で通路をわかりやすく案内します。歩行者、自転車の通行空間分離で双方の安全を向上します。

減災・防災対策

夜間に避難誘導標識を明るく照らします。夜間避難時の目印として有効です。

フレックスフラッシュ

緑LED点滅発光で避難誘導します。

太陽エネルギーの有効利用

防音壁の透明板に太陽電池パネルを取り付け、日照部を有効活用した発電施設を実現しました。

騒音・雪害対策

高い遮音性能と耐振動性能、積雪対策などが評価され、北陸新幹線の金沢～長野間に採用されました。

景観資材事業

美しいまちづくりに貢献する高い意匠性と安全機能。これからの「人中心のみちづくり」におけるさまざまなシーンで、“安全・安心”に貢献する製品を提供しています。

道路構造物の長寿命化をはかるため、かねてより、二重防食方式の塗装技術を防護柵など景観資材に採用しています。また、災害時にも有効なソーラー照明灯をはじめとする太陽電池式LED自発光の省電力化技術を活用した製品などの提供を通じて、減災対策への貢献に取り組んでいます。

災害避難路安全対策

緊急避難路

太陽光が当たりにくい斜面にソーラー照明灯を設置可能としたセパレートソーラー照明灯で避難路を明るく照らします。

緑色ビームに統一する事で避難路をわかりやすくします。

重要な電子機器を上部に設置することで支柱部が浸水後も発光します。

自転車道整備

自転車道の入口部で利用者を案内するサイン付車止めを提案しています。

通学路安全対策

高強度パイプの構造体で学童を守ります。

スポーツ施設事業

耐久性・メンテナンス性を兼ね備えた人工芝「ドリームターフ」は、その品質が評価され、プロサッカーチームをはじめとする国内外の様々なグラウンドにご採用いただいています。

スポーツ用途の人工芝「ドリームターフ」は、安全性・耐久性と温度上昇抑制機能が評価され、学校グラウンドやサッカー場、野球場に採用されています。

ドリームターフ（ラグビーグラウンド）
東京都

芝葉自体に温度抑制機能をもたせたクールタイプ

温度抑制効果が高い芝葉「クールヤーン」をスポーツ用途の人工芝全シリーズに展開。フィールド表面の温度上昇を抑え、快適なプレーを足元から支えます。

住建事業

景観に調和するシンプルなデザインでありながら、騒音などの住環境を取り巻く諸問題の対策に貢献する高機能製品を提供しています。

当社のメッシュフェンス製造設備では、溶接、塗装、加工、梱包までを一貫して行うことが可能です。また、パネル部は、有機溶剤を使用しない流動浸漬塗装を採用しています。これらによって環境にやさしく、高耐久な製品を提供しています。

メガソーラー施設外構での防犯対策

忍び返し形状のメッシュフェンスでソーラー発電施設外周を囲い、侵入者によるいたずらを未然に防ぎます。

都市緑化対策

マンション外構などのめかくし塀を緑のカーテンとすることで都市の緑化対策を実現します。

避難路整備

高規格道路への避難階段入口に設置し、万一の災害時に円滑な避難を実現します。

人工木・建材事業

自然との調和をコンセプトに、独自の技術から生まれた人工木材やラミネート技術と樹脂配合技術から生まれ、軽さと強さを実現した「メタカラー建材」「プラメタル」が建築内外空間を美しく演出します。

人工木材は、耐候性·耐久性に優れた「スーパーオレンジウッド」が好評です。また、「角型テンダーウッド」は、超軽量·高強度が評価され、ビルや商業施設の外装材として採用されています。「メタカラー建材」は、国土交通省の定める不燃認定を取得。駅、空港、商業施設などの人が集まるエリアの建築資材として活用されています。

人工木材製品

スーパーオレンジウッド

香川県

角型テンダーウッド

神奈川県

メタカラー建材

メタカラー面材シリーズ

ホテル（東京）

ショールーム（大阪）

地下街ショッピングセンター（大阪）

「割れない鏡」としての安全·安心が評価され、メタカラー面材が採用されました。

総合物流資材事業

国内外でのトップシェアを占める梱包用結束バンド「PPバンド」をはじめ、梱包資機材、デジタルピッキングシステムなど多彩な製品を品揃えし、物流資材の総合メーカーとして、作業の効率化·合理化に貢献します。

当社の押出成形技術を活用した梱包用結束バンドの新製品として、柔らかく使用後に廃棄しやすい「そうバンド」を開発しました。ゴミの減容化が可能な環境に配慮した製品です。

端部が持ち上がる構造で梱包物にソフトタッチ

梱包物のコーナー部が傷つきにくい

柔らかく使用後のバンドを結ぶことができ、廃棄時の減容が可能。

アグリ事業

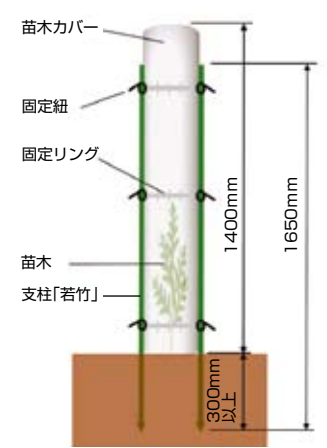
人や環境にやさしく、工夫やアイデアを盛り込んだ農業·施設園芸資材が、快適な農業環境づくりに貢献します。

植林した苗木を鹿などの獣害から保護するカバーを支える支柱(構造物)として、農園芸用支柱「若竹」が活用されています。当社は、これからも様々な製品を通じて、日本の農業の発展に貢献していきます。

農園芸用支柱「イボ竹」

菜園アーチ支柱

農園芸用支柱「若竹」苗木保護

徳島県

住生活資材事業

人や環境にやさしく、機能的な製品。斬新なデザインの生活用品が、豊かな生活環境づくりに貢献します。

自然気化式加湿器「うるおい」、リサイクル可能なアルミ素材を採用したものほし「IPPIN」をはじめ、環境に配慮した製品の開発を進めています。新製品のお風呂用皮脂取り「ゆくりん」は、お風呂に浮かべ動かすことで湯汚れの原因となる皮脂を効果的に吸着するため、水資源の有効利用に貢献します。

自然気化式加湿器 うるおいアニマル「ちいさな森」

自然気化式加湿器 うるおいブロッサム

お風呂用皮脂取り「ゆくりん」

ランドリースタンド「IPPIN」

環境報告

地球のために
子供たちの未来のために

積水樹脂グループは、持続可能な発展にむけて環境保全、環境教育、環境調和型製品の開発及びCO_2排出量削減などの取り組みを推進しています。

道夢道(どうむどう)とは
「道夢道」は、交通安全製品や景観資材の性能・品質を実際の条件の下で実験する研究施設です。安全で快適、美しい環境づくりに求められる高品質な製品の開発・生産にとって欠くことのできない施設です。

従業員とその家族による環境保全活動

滋賀自然観察会

石川森づくり活動

琵琶湖ヨシ刈り活動

滋賀森林保全活動

長野森林整備活動

事業所敷地内に生息する貴重な虫や植物

ハッチョウトンボ

サギソウ

イシモチソウ

モウセンゴケ

ハルリンドウ

環境経営理念

我々は、かけがえのない母なる「地球」を、環境破壊・資源枯渇等、地球環境問題から保護することを最重要課題と認識し、地球に優しい環境調和型製品・事業活動を通じて「地球と人類の永続的調和」及び「人間性豊かな生活環境づくり」に貢献します。

環境経営方針

「資源は節減・循環、廃棄はゼロ、環境は改善・保全」
1. 地球環境に対し、「廃棄はゼロ、環境は改善・保全」を通じて 社会的責任を果たします。
2. 地球環境調和型製品の開発を通じて、「資源は節減・循環」 に貢献します。

第5次環境3ヵ年計画（2013～ 2015 年度）環境活動の取り組み

事業・製品による環境貢献 19ページ

地球環境調和型製品の拡大

＜目標＞
地球環境調和型製品
・売上高比率：29%以上
・新 製 品 数：43件

＜実績＞
売上高比率 **28.2%**
新製品数 **43件**

事業活動における環境負荷の低減 21～22ページ

CO_2排出量
原単位※ 2012年度比

国内生産事業所
＜目標：1.5%以上削減＞
＜実績＞ **3.8%削減**

国内オフィス
＜目標：0.5%以上削減＞
＜実績＞ **5.5%削減**

廃棄物排出量
国内生産事業所
＜目標：2%以上削減＞
＜実績＞ **2.1%削減**

化学物質排出・移動量
PTPR法に基づく化学物質
＜目標：1%以上削減＞
＜実績＞ **1.6%削減**

※ 原単位とは　製品の一定量を生産するのに必要な各生産要素（エネルギー、原材料など）の量及び排出される環境負荷量（CO_2、廃棄物、化学物質）です。

生物多様性の保全 25～26ページ

環境保全活動・環境コミュニケーションの拡大

■「SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク」への参画
■タイ王国におけるマングローブの植林活動の実施
■自然観察会の実施
■事業所に生息する希少種の保護
■森林保全活動の継続（滋賀工場、石川工場、積水樹脂プラメタル(株)）

製品の開発・設計から使用・廃棄までの段階で環境に配慮した地球環境調和型製品を通じて、環境負荷の低減に取り組んでいます

地球環境調和型製品とは

社内基準を満たす環境面で有利な製品です

地球環境調和型製品は、以下のいずれかの社内基準を満たす、環境面で有利な製品をいいます。

基準1
製品のライフサイクルのいずれかの段階において環境負荷を低減させるように設計された製品

基準2
納入先が指定する環境基準を満足するように設計された製品

基準3
エコマークおよび各自治体の環境認定基準に適合した製品

地球環境調和型製品の売上高比率と新製品数

製品売上高比率は28.2%、新製品数は43件

当社グループは、事業活動を通じた環境負荷低減への取り組みとして、地球環境調和型製品の開発と普及を推進しています。2013年度の地球環境調和型製品の売上高比率は28.2%と、目標とする29%以上には届かなかったものの、2012年度より2.2%増加しました。また、2013年度の新製品数は43件となり、目標を達成しました。今後も、地球環境調和型製品の更なる開発と普及に注力していきます。

地球環境調和型製品の売上高比率は、以下の式により算出します

地球環境調和型製品の売上高比率 ＝ 地球環境調和型製品売上高(※1) ／ 全製品売上高(※2)

(※1) 2002年度以降認定された地球環境調和型製品の当該年度の売上高
(※2) 当該年度の製品売上高合計

地球環境調和型製品のご紹介

再生材の利用

廃プラスチックや廃木粉、廃タイヤゴムなどを再利用し製品化しています。

テンダーウッド柵

廃材仕様カラーライン（自転車レーン）

オレンジウッドデッキ（廃プラスチック再生人工木）

オレンジウッド かまどベンチ（廃プラスチック再生人工木）

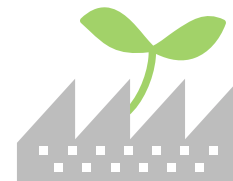
DK-5（廃タイヤチップ弾性車止め）

ブライテックス（環境配慮型 梱包用結束バンド）

CO_2削減

うるおいアニマル「ちいさな森」（自然気化式加湿器）

うるおい ブロッサム（自然気化式加湿器）

梱包用結束軽量バンドRX

生産工程での環境負荷低減

・生産時の離型紙を削減
・パネル部材の無溶接化

フレックスロープ（勾配対応柵）

フレックスロープ＋組立歩道

パネル部材の無溶接化（リベット取付）

ジスラインS（ソリッドシート）

ジスラインS

ジスラインS 離型紙レス

太陽エネルギーの利用

太陽電池使用でCO_2排出量削減に貢献

セパレート型ソーラーLED照明灯

SLキャップ 柵支柱取付

フレックスフラッシュ

冠水対応ソーラー照明灯

ソーラールミ T-II

ポールコーンルミ

公共分野

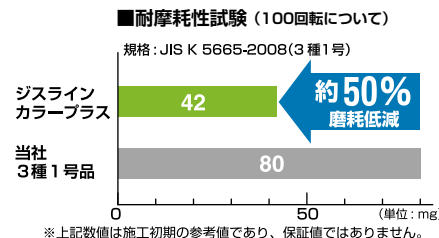
交通環境資材事業

「ジスラインカラープラス」

長寿命化 でゴミ低減

通学路、ゾーン30の安全対策に、路面を見やすいようにカラー化する路面標示材です。

特殊な熱可塑性樹脂の添加と硬質骨材(ホワイトシリカ)の混入により耐摩耗性が向上し、従来の路面標示材(3種1号)に比べて耐久性がUPしています。

※上記数値は施工初期の参考値であり、保証値ではありません。

スポーツ施設事業

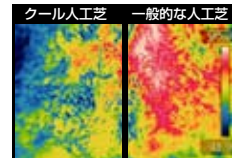
人工芝「ドリームターフ クール」

温度抑制 で快適

芝葉自体に温度抑制機能をもたせたクールタイプです。温度抑制効果が高い芝葉「クールヤーン」をスポーツ用途の人工芝全シリーズに展開。フィールド表面の温度上昇を抑え、快適なプレーを足元から支えます。

■【温度抑制効果確認試験】
- 使用熱源：ハロゲンランプ
- 照射角度：約65°
  ※東京圏の7月、13時頃の太陽高度を想定。
- 測定機器：サーモグラフィー
  ※試験体の真上より測定。表面温度の平均値で評価。

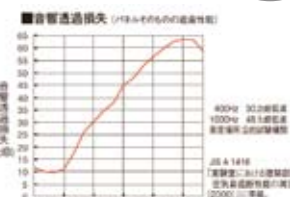
【サーモグラフィー写真】

民間分野

住建事業

「防音めかくし塀PS-4型 緑化タイプ」

騒音 低減

近隣への騒音対策やプライバシー確保を行いながら、緑化することで景観への配慮ができるフェンスです。

メッシュパネルを緑化補助に使用し緑化前の景観にも配慮。
また、メッシュ線材の格子ピッチは植物の育成に最適な100mmピッチを採用しています。

人工木・建材事業

仮囲いパネル「防音アフィラウォール」

騒音 低減

遮音パネルと吸音材+パンチングパネルを組み合わせた新世代の防音仮囲いパネルです。

周辺環境に配慮した製品として様々な工事現場でお役に立てます。

表面
裏面 パンチング部
表面 テクスチャー
裏面 テクスチャー

※本製品でいう「防音」とは、仮囲いで囲まれた空間から仮囲いを透過する騒音を低減する効果をいいます。

（積水樹脂プラメタル株式会社）

公共分野

景観資材事業

ソーラーLED照明「ソーラーセーフティ」

太陽エネルギーの利用

懸垂幕サイン
制御ボックス部サイン

減災や節電意識の高まりに応えて、安全、安心なまちづくりをサポートします。

緊急時の電力供給や情報提供に役立つ、減災対策機能を付加できます。

■懸垂幕サイン
避難所での情報提供が可能です。

■制御ボックス部サイン
避難経路の誘導情報、避難場所表記などが可能です。

緊急時用コンセント
AC100Vコンセントを内蔵し、非常用電源として電力供給が可能です。

携帯電話「約30台程度」の充電が可能
※上記内容は満充電時の一例であり、利用状況によっては照明灯の点灯に影響が出る事があります。

民間分野

人工木・建材事業

「角型テンダーウッド」

長寿命化 でゴミ低減

木の温もりを持ったハイブリッドマテリアル

天然木に替わる建築マテリアルとして、自然な木質感を生かした進化形素材「角型テンダーウッド」を提案。地球にやさしい技術と品質で、魅力ある住環境づくりをサポートします。

- **高耐候性** 特殊樹脂配合により経年変化に強い
- **強度部材** 強度計算が必要なルーバーや構造部材にも利用可能
- **超軽量** アルミ型材に木質樹脂を被覆成形したハイブリッド素材なので天然木と比べ軽量

アルミ型材に木質樹脂を被覆成形。木の表情と質感で超軽量&高強度を実現。

総合物流資材事業

非熱処理式ストレッチ包装機「パックインストレッチ」

廃棄物 削減

凹凸のある形状の商品をストレッチフィルムで固定することで木枠などを省けます。

■形を選ばない非熱処理式ストレッチ包装機です。
■凹凸のある形状の商品もストレッチフィルムでしっかり包装できます。
■当包装機導入により、廃棄物削減が図れます。

デジタルピッキングシステム「アンサーキットACC10・ACC18シリーズ」

CO_2 削減

表示器の電源回路を見直すことで、消費電力を従来機種より約30%低減しました。

■セグメントLEDによる高い視認性
新設計の電源回路により、高輝度の7セグメントLEDを使用した従来機種と変わらない高い視認性と、消費電力従来比約30%低減という省電力性能を両立させました。

■高い互換性
従来機種と変わらない外観及び互換性をもっており、従来機種との併用が可能です。

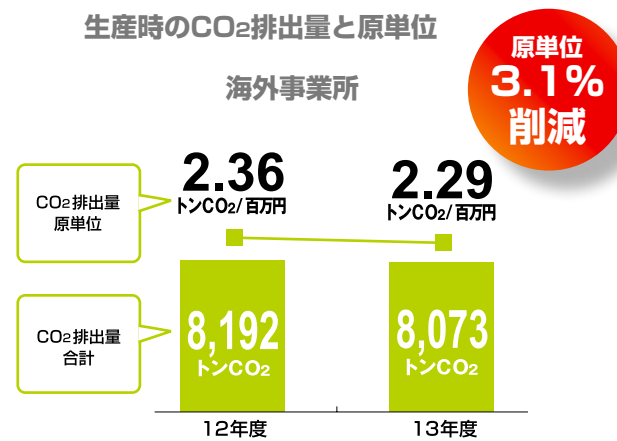
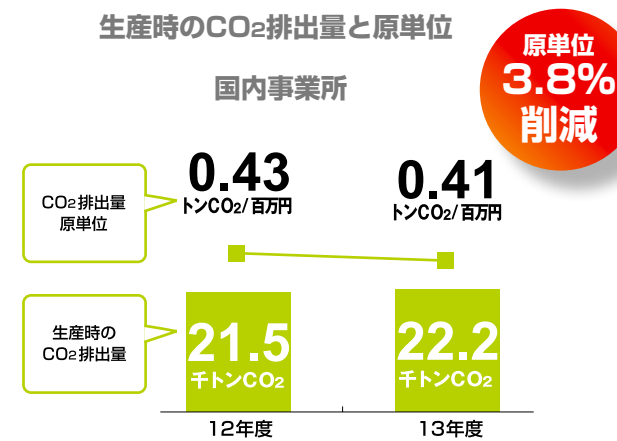
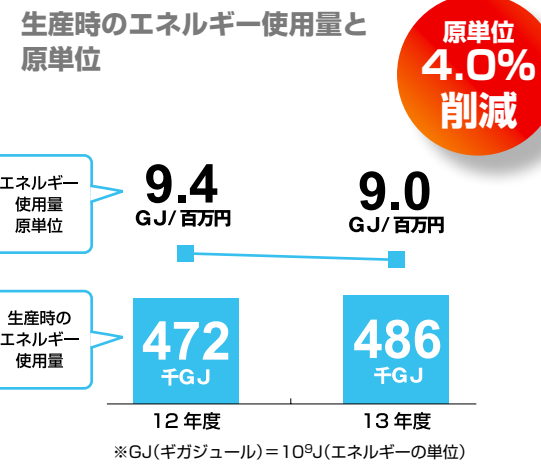
（積水樹脂キャップアイシステム株式会社）

エネルギー使用量、CO2・廃棄物排出量削減を環境経営の重要課題と位置づけ、生産・オフィス部門でさまざまな取り組みを行っています

生産事業所のエネルギー使用量、CO2排出量削減への取り組み

エネルギー使用量原単位4.0%削減、CO2排出量原単位3.8%削減(2012年度比)

生産事業所において、生産プロセスや空調・照明設備等の改善・適正管理を行い、生産時のエネルギー使用量や、CO2排出量の削減に取り組んでいます。2013年度は、2012年度比でエネルギー使用量原単位4.0%、CO2排出量原単位3.8%削減しました。今後も、生産プロセスの改善や省エネ設備の導入、エネルギーの見える化・節電対策など、ハード・ソフトの両面から、省エネ活動の強化をはかっていきます。

※GJ(ギガジュール)=10⁹J(エネルギーの単位)

(注)海外生産事業所においては、売上高を基準年(2012年)の為替レートで円換算し、原単位を算出しています

オフィスにおける省エネルギーの推進

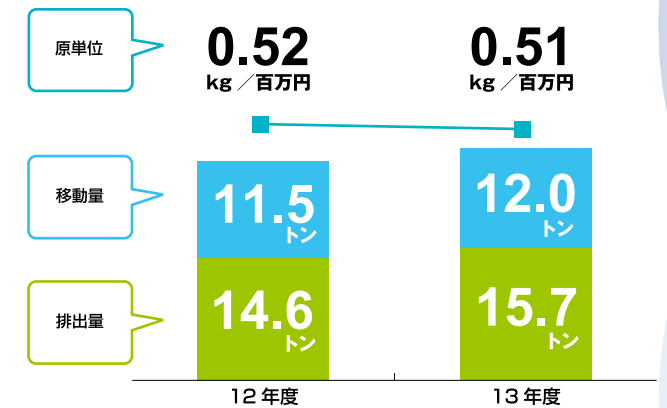
オフィスのCO2排出量5.5%削減(2012年度比)

オフィスにおいても省エネ・節電の取り組みを推進しています。2013年度は、2012年度実施の本社、支店および主要営業所における省エネタイプ複合機等への更新及び、設置台数の半減、また、エネルギー消費量の大きいエアコンにおいては稼働台数を低減するなど、これらの取り組みにより、2013年度のCO2排出量削減実績は、2012年度比で約5.5%削減となりました。今後もクールビズ推進、パソコン・ディスプレイの省電力モード化等の省エネ活動を、当社グループ全体で継続して取り組んでいきます。

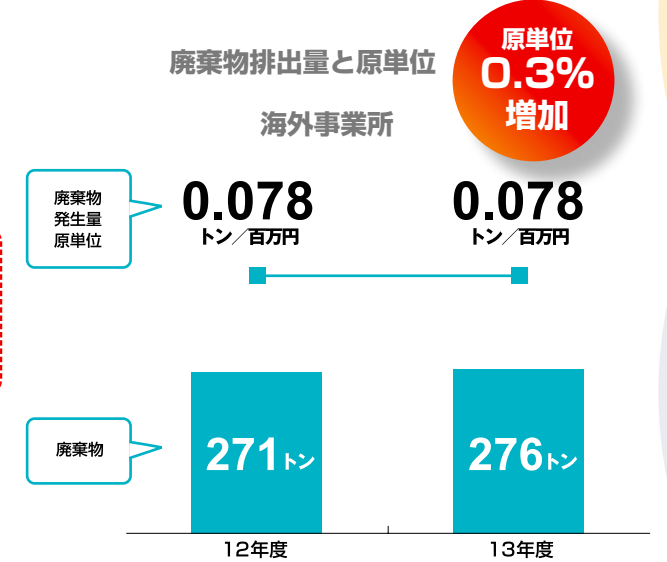
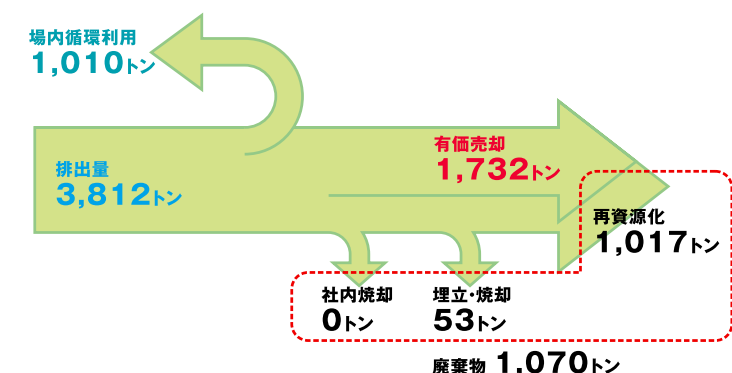
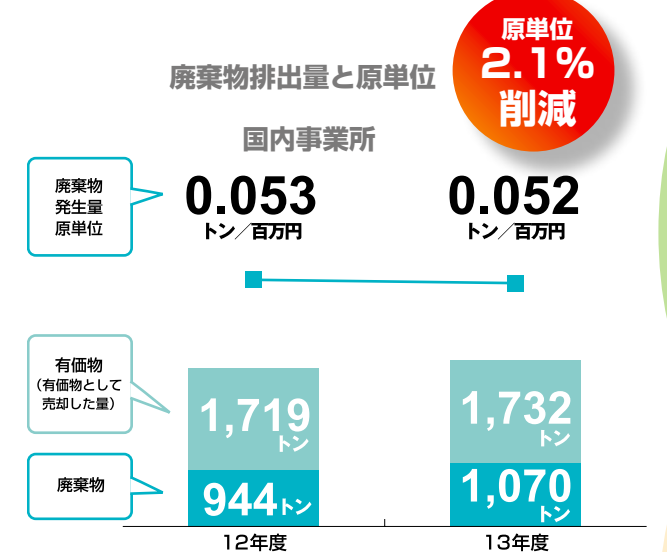
PRTR法 対象化学物質排出量・移動量削減への取り組み

PRTR法(※1)対象化学物質を原単位で1.6%削減(2012年度比)

PRTR法 対象化学物質の削減のために、対象化学物質の非含有タイプ原材料への切り替えや、製造プロセスにおける使用効率の改善などに取り組んでいます。また、当社グループ共通の化学物質管理の指針を策定し、グループ全体で、化学物質の使用量管理、紛失・盗難防止の強化にもつとめています。2013年度のPRTR法 対象化学物質排出量・移動量(原単位)は、2012年度比で1.6%削減となりました。

(※1)PRTR法
PRTR法とは正式名称を「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」といいます。人の健康や生態系に有害なおそれがある化学物質について環境中への排出量及び廃棄物に含まれての移動量を事業者が自ら把握して、行政に報告し、さらに行政は事業者からの報告や統計資料を用いた推計に基づき排出量・移動量を集計・公表する制度です。

生産事業所における廃棄物削減の取り組み

有価物も含めた廃棄物の削減に取り組んでいます

2010年度より、「排出物」の削減を目的として、有価物を含めた廃棄物の削減目標を設定し、取り組みを行っています。各生産事業所においては、生産工程における歩留まり改善、不良率の低減活動を推進し、2013年度における廃棄物削減量は2012年度比で2.1%となりました。
今後も、「3R」(Reduce:廃棄物の発生抑制、Reuse:再使用、Recycle:再資源化)活動を継続し、排出物の削減につとめます。

(注)海外生産事業所においては、売上高を基準年(2012年)の為替レートで円換算し、原単位を算出しています。

使用済製品の回収・リサイクルによりCO_2の削減に取り組んでいます

広域認定制度を活用した公共用製品のリサイクルへの取り組み

使用済みの樹脂製視線誘導標を129.6トン回収・再生(2008~2013年度累計)

積水樹脂は、資源の有効利用・廃棄物削減のため、当社独自素材であるジスロンパイプを使用した樹脂製視線誘導標(デリニェーター・スノーポール)について広域認定制度の認定を取得しています。

(認定日:2008年6月12日、認定番号:第145号)

広域認定制度に基づくリサイクルシステムを構築し、使用後廃棄処理される樹脂製視線誘導標を、再度、原料として活用することで、建設廃材を他分野に流出させず、確実な環境負荷低減をはかっています。

広域認定に基づくリサイクルの対象製品

デリニェーター

スノーポール

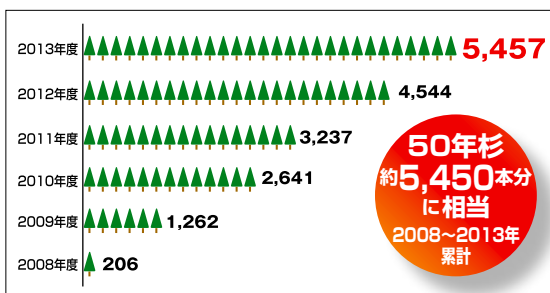
広域認定制度とは?

製品が廃棄物となったものであって、当該廃棄物の処理を当該製品の製造、加工、販売等の事業を行う者が広域に行うことにより、当該廃棄物の減量その他その適正な処理が確保されることを目的として、廃棄物処理業に関する法制度の基本である地方公共団体毎の許可を不要とする特例制度です。

CO_2排出量を76.4トン(※1)削減(2008~2013年度累計)

使用済品の回収から再生原料化の過程で発生するCO_2は、バージン原料製造(資源採掘・採取から原料製造)の過程で発生するCO_2の約半分です(※2)。

広域認定制度に基づくリサイクルを実践することで、CO_2排出量削減にも貢献しています。

CO_2排出削減量 年間累積合計 50年杉換算(本)(※3)

(※1) CO_2削減量は、再生原料(樹脂)重量(2008~2013年度実績:106.1t)に、(※2)のCO_2排出量の差(0.72kg)を乗じて算出しています。
(※2) バージン原料1kgあたりのCO_2排出量:1.43kg(プラスチック廃棄物の処理・処分に関するLCA調査研究報告書(プラスチック処理促進協会)より)
再生原料1kgあたりのCO_2排出量:0.71kg(2008年度の回収・再生実績を基に各工程でのCO_2排出量を算出)
(※3) 50年生のスギ人工林1本当りの年間二酸化炭素吸収量を約14kg(岐阜県の収穫予想表に基づく試算値)として試算しています。
(「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」環境省・農林水産省 林野庁作成のパンフレットより抜粋。)

TOPICS サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量(※4)の把握

地球温暖化防止のためには、『自社の事業活動範囲』の温室効果ガス排出量把握・削減だけでなく、『サプライチェーン全体』を通じた温室効果ガス排出量の把握・削減への取り組みが重要となっています。積水樹脂グループでは2013年度より、「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン(環境省・経済産業省)」に基づき社内算定基準を策定し、サプライチェーンにおける温室効果ガスの算定を開始しました。今後は算定範囲を更に拡大し、サプライチェーンを通じた温室効果ガスの削減に繋げていきます。

サプライチェーンの流れ

Scope3 上流の活動	Scope1,2 自社の事業活動	Scope3 下流の活動
2013年度 算定済		
● 購入した製品・サービス ● Scope1,2 に含まれない燃料及びエネルギー関連活動 ● 事業から出る廃棄物 ● 出張 ● 通勤 ● 賃借しているリース資産(Scope1,2 に含む)	Scope1(直接排出) ● 生産時の燃料 ● 社用車の燃料 Scope2(間接排出) ● 電気の使用	● 製品の輸送・配送
2014年以降 算定予定		
● 資本財 ● 購入した物品の輸送・配送		● 販売した製品の加工 ● 販売した製品の使用 ● 販売した製品の廃棄

(※4) サプライチェーンにおける事業活動に伴って発生する温室効果ガス排出量全体を指し、直接排出量(Scope1)、エネルギー起源間接排出量(Scope2)、及びその他の間接排出量(Scope3)から構成されます。Scope3 の 15 カテゴリーのうち、当社の事業活動に含まれない 3 カテゴリーは除外しております。
(除外カテゴリー:賃貸しているリース資産、フランチャイズ、投資)

Scope1
燃料使用による直接排出

Scope2
電気使用による間接排出

Scope3
『Scope2』以外の間接排出
・購入した製品・サービス(原材料等)
・製品の輸送・配送
・事業から出る廃棄物
・従業員の出張・通勤
・Scope1,2 に含まれない燃料及びエネルギー関連活動等

積水樹脂グループは、様々な環境活動主体と連携し、「生物多様性の保全」と「持続可能な利用」に積極的に取り組んでいます

積水樹脂グループ生物多様性保全の活動方針

積水樹脂グループは、「生物多様性の保全」を社会的責任の重要な一つと捉え、事業活動による生物多様性への負荷を認識し回避・低減することで「生物多様性の保全」及び「持続可能な利用」に努めます。

指針1
地球環境調和型製品の開発・普及を通じて、生物多様性の保全に貢献します。

指針2
省エネルギー、省資源、廃棄物・有害化学物質使用削減等に継続して取り組み、環境負荷の低減に努めます。

指針3
社会貢献活動として、事業所の立地する自然環境に応じた生態系の保全活動を推進します。

指針4
生物多様性に関係する諸団体との連携を深めると共に、情報発信を積極的に行い「生物多様性の保全」の普及に努めます。

自然環境保護団体との連携及び活動支援

「SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク」への参画

2010年10月に開催された生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）において、「SATOYAMAイニシアティブ」が提唱され、2013年9月13日には、里山保全の全国組織となる「SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク」が設立されました。

当社は本ネットワーク設立準備段階より参画しています。これからも本ネットワークと連携し、「SATOYAMAイニシアティブ」の「普及啓発」「情報発信」「対話と実績」を進めていきます。

■「SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク」ホームページ
http://www.pref.ishikawa.jp/satoyama/j-net/

■当社は、環境省とともに「国連生物多様性の10年日本委員会」に2010年度より継続して支援しています。

グローバルな環境保全活動

タイ王国におけるマングローブの植林活動

当社の海外子会社であるセキスイジュシ（タイランド）は、2013年8月、積水化学工業㈱が主催するタイ王国におけるマングローブ植林活動に参加しました。本活動は、食用エビ養殖地の造成等により伐採が進んでいるマングローブの再生を通じて、漁業資源の回復や防潮・防風などの減殺対策のほか温暖化抑制に貢献するものです。

タイ王国サムットソン・クラークでの植林活動の様子

地域との環境コミュニケーション

自然観察会

滋賀工場（物流センター）では、2013年8月に地域の子ども会を対象に、自然観察会を開催しました。当日は、保護者の方を含め15名の方が参加しました。子供たちの一番の目当ては、この地域に生息する日本一小さなトンボ「ハッチョウトンボ（※1）」です。この時期は多くのハッチョウトンボが飛び交っています。直接、ハッチョウトンボに触れ、観察することができ、子供たちも大満足でした。

（※1）ハッチョウトンボ：体長約2cmの日本最小のトンボです。生息地である湿地環境が土地開発により減少しており、33の都道府県でレッドデータブックに登録されています。

自然観察会の様子

ハッチョウトンボ（滋賀工場敷地内にて撮影）

事業所に生息する希少種の保護

カスミサンショウウオ（※2）の保護

滋賀工場敷地内には、環境省で絶滅危惧種に指定されているカスミサンショウウオが生息しています。毎年2月～3月になるとカスミサンショウウオの卵塊を発見することができます。この希少な生き物を保護するため、2013年度より長浜バイオ大学にご協力をいただき、生息域の調査・保全を開始しました。今後も引き続き、希少種の保護に努めていきます。

カスミサンショウウオの卵塊（滋賀工場敷地内にて撮影）

VOICE

積水樹脂（株）滋賀工場敷地内に、カスミサンショウウオが生息しているとの情報を聞き、情報交換をするようになりました。現在カスミサンショウウオの生息地にお邪魔し、産卵や幼生の成長状況の調査、さらには遺伝子解析をさせて頂いています。

カスミサンショウウオは、山の原流域近く棲む他の多くの小型サンショウウオとは違い、丘陵地や平地の湿地・池を繁殖場所とする種類です。そのため、人間による開発などの影響を顕著に受け、全国的に多くの地域で激減してきています。私たちは、主に、長浜バイオ大学近くのカスミサンショウウオを保護する活動・研究をしていますが、滋賀県内のカスミサンショウウオを次の世代に残していくためには、現在各地域に遺伝的にどのような集団がどのような状況で生息しているのかを把握することがとても大切であると考えています。

今後も、是非協力してこの希少動物を末永くそれぞれの地域に残していけるように取り組んでいきたいと思います。

長浜バイオ大学　教授
理学博士　齋藤 修 氏

（※2）カスミサンショウウオ：丘陵地の林床や草地などに生息し、2～4月になると、湿地や浅い池などの止水域に現れ、産卵します。土地開発、森林伐採、流水環境の遮断や汚染により、近年、数が激減しており、環境省カテゴリーでは絶滅危惧Ⅱ類、滋賀県レッドリストでは希少種に指定されています。

カスミサンショウウオの成体（長浜バイオ大学にて撮影）

滋賀工場

滋賀製造所

所 在 地:滋賀県蒲生郡竜王町大字西川字下中筋1321
主要生産品目:防護柵･交通安全資材･人工木材･シェルター
設立年月:1971年5月
敷地面積:61,569㎡

滋賀製造所

竜王鏡製造所

所 在 地:滋賀県蒲生郡竜王町大字鏡字谷田731－1
主要生産品目:防音壁･メッシュフェンス･高欄･装飾建材
設立年月:1987年6月
敷地面積:129,415㎡

竜王鏡製造所

活動報告

ヨシ刈りボランティアに参加

2012年度より「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」に参画し、ヨシ刈り活動を継続しています。ヨシは琵琶湖の水質浄化、生態系保全に寄与していますが、冬の時期に枯れたヨシを刈り取らないと翌年にヨシが育たないため、行政、企業、市民団体などが、ヨシ刈りをボランティアで実施しています。2014年2月に「西の湖ヨシ刈りボランティア活動」に参加しヨシ刈り作業を行いました。

2014年2月 第2回西の湖ヨシ刈りボランティア活動の参加者

省エネ・ピーク電力削減への取り組み

2013年度は、押出成形ラインの新規金型設計による多本取りの実現及び、エア配管の経路変更による圧力損失を削減するなど省エネ設備導入等により、省エネルギー化を推進致しました。

森林保全活動

2010年度より「琵琶湖森林づくりパートナー」として、琵琶湖の水源である森林の健全な保全に貢献することを目的に森林保全活動を継続しています。2013年10月に従業員・家族が協力して、間伐された木材の運搬作業を行いました。

2013年10月 森林保全活動の様子

主要な環境パフォーマンスの推移

生産時のCO2排出量と原単位

生産時のエネルギー使用量と原単位

※GJ(ギガジュール)＝10^9J(エネルギーの単位)

廃棄物排出量と原単位

土浦つくば工場

土浦製造所

所 在 地:茨城県土浦市東中貫町2－2
主要生産品目:路面標示材
設立年月:1968年5月
敷地面積:31,811㎡

土浦製造所

つくば製造所

所 在 地:茨城県牛久市桂町2200－3
主要生産品目:メッシュフェンス･手摺関連製品
設立年月:1990年5月
敷地面積:56,353㎡

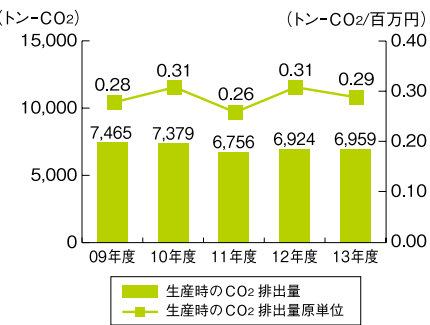
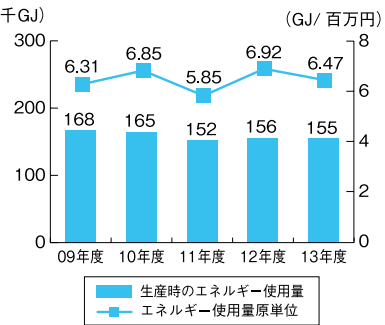
つくば製造所

活動報告

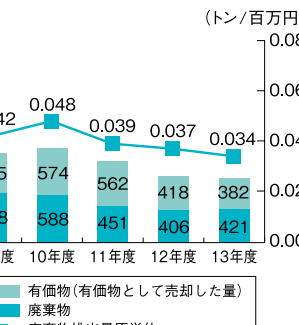
省エネへの取り組み

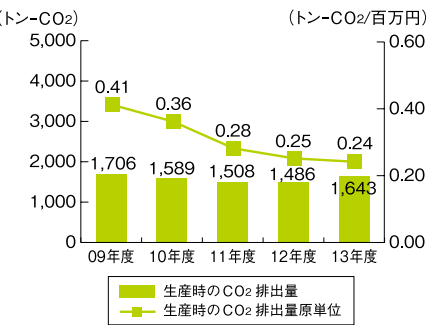
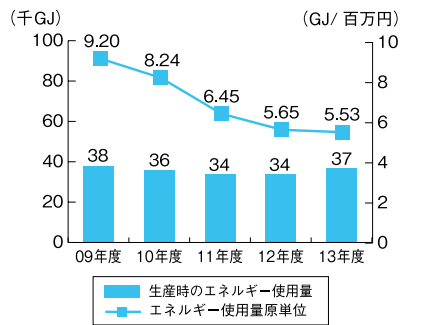
土浦製造所では、合計5箇所に変電所を設置し工場内で使用される電気を供給していましたが、2013年度に各変電所の負荷率等の調査・見直しをはかり、負荷率の低い2箇所の変電所を休止し、3箇所の変電所で電気を供給することができるよう、電気配線系統の変更を行いました。
2箇所の変電所を休止することにより、変圧器の無負荷損等の電力損失を低減することができ、年間で40,000kwh以上の電気使用量の削減に繋げることができました。

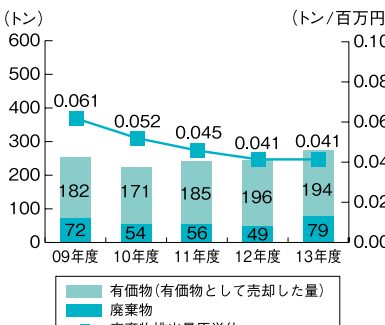
安全への取り組み

土浦製造所におきまして神立地区工業協議会より「18年間無災害達成」を表彰されました。つくば製造所におきましても、無事故無災害日数5000日を達成することができました。
日々の安全パトロールや作業前の指差し確認の徹底、ヒヤリハットの改善・安全大会など工場全員での活動を通じて、安全意識の向上をはかるとともに、設備の安全対策の強化を実施し、未然に災害を防止することを心がけ、土浦は無災害20年、つくばは6000日を目指し、さらに安全で快適な職場になるよう取り組んでいきます。

場内の変電所負荷率を見直し

設備安全対策強化(安全柵設置)

「18年間無災害達成」による表彰状

主要な環境パフォーマンスの推移

生産時のCO2排出量と原単位

生産時のエネルギー使用量と原単位

※GJ(ギガジュール)＝10^9J(エネルギーの単位)

廃棄物排出量と原単位

石川工場

所 在 地：石川県能美市吉原釜屋町ロ－１
主要生産品目：梱包資機材・農業資材
設立年月：1972年4月
敷地面積：68, 078㎡

石川工場

活動報告

環境貢献活動

石川工場では、松くい虫の被害を受けて立ち枯れとなった海岸林を再生し、日本海沿岸松林の美観を守り、津波や暴風の被害を軽減することを目的に環境貢献活動を進めています。2013年度は、地元住民のみなさんと協力し、抵抗性松※の苗木の植樹・下草刈り・落ち葉集めを実施しました。この活動をはじめて、まだ2年ではありますが、従業員・家族によるボランティアの積極的な取り組み及び地元のみなさんとのコミュニケーションをはかりながら、未来に形を残す活動を継続していきます。

※抵抗性松：松くい虫に強い松

重油消費量削減への取り組み

梱包用結束バンド（PPバンド）の生産では、樹脂を延伸する工程の熱源に重油を使用していましたが、それを電気に変更し、重油使用量の削減に取り組みました。電力化を推進した結果、2014年3月にバンドの生産設備の重油使用をゼロ化しました。

2014年3月 日本海沿岸松林美観維持活動の参加者

日本海沿岸松林美観維持活動の様子

主要な環境パフォーマンスの推移

生産時のCO₂排出量と原単位

生産時のエネルギー使用量と原単位

※GJ（ギガジュール）＝10^9J（エネルギーの単位）

廃棄物排出量と原単位

積水樹脂プラメタル株式会社

本社工場

所 在 地：長野県上伊那郡辰野町大字小野795－１
主要生産品目：機能面材・アルミ樹脂積層複合板
設立年月：1966年６月
敷地面積：20, 470㎡

本社工場

関東工場

所 在 地：茨城県牛久市桂町2220－3
主要生産品目：機能面材・アルミ樹脂積層複合板

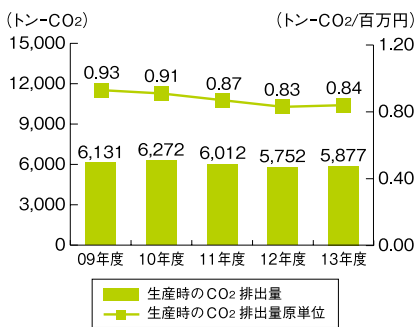
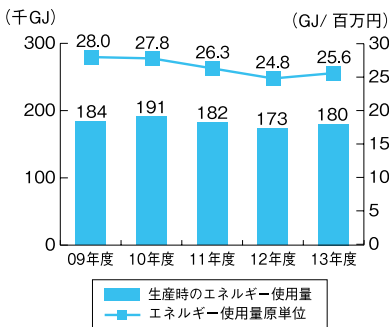
関東工場

活動報告

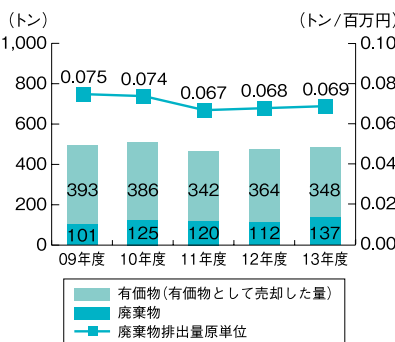
環境貢献活動

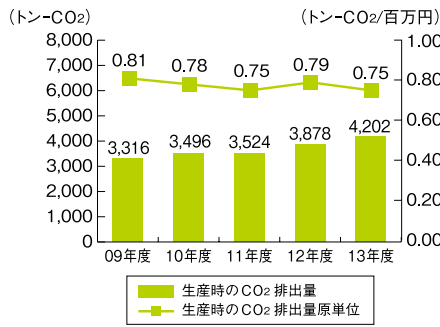
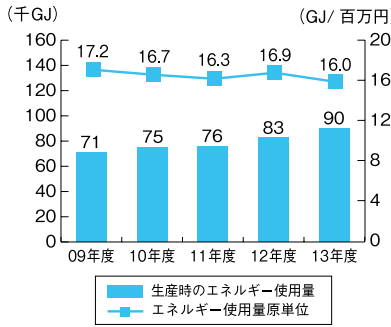
2011年に当社が長野県辰野町と締結した森林（もり）の里親協定の一環として、2013年６月８日（土）に長野県上伊那郡辰野町の荒神山スポーツ公園内町有林にて第３回森林整備体験活動を実施しました。
当日は、長野県上伊那地方事務所及び辰野町役場関係の方２名を合わせ、総勢51名が参加。直前まで心配された天気の崩れもなく、皆で力を合わせて作業を行なった結果、森林内は見違える程スッキリとしました。
今後も地球環境への問題意識を持って森林整備の継続を目指します。

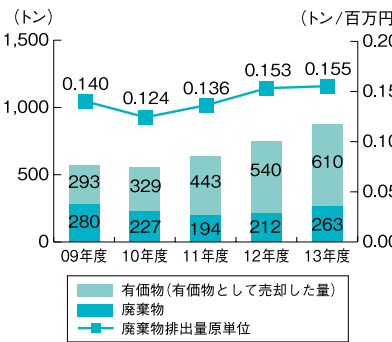
省エネ・節電への取り組み

2013年度は環境負荷低減目的とし16件の設備投資を実施しました。同一設備対比で約30%の電力削減が可能となりました。また、フォークリフトは、ガソリン車からバッテリー車への更新を順次進めCO₂削減をはかっています。

2013年6月 第3回森林整備体験活動の参加者

作業後、
森林内はスッキリ！

第3回森林整備体験活動の様子

主要な環境パフォーマンスの推移

生産時のCO₂排出量と原単位

生産時のエネルギー使用量と原単位

※GJ（ギガジュール）＝10^9J（エネルギーの単位）

廃棄物排出量と原単位

Sekisui Jushi Strapping B.V.（オランダ）

所 在 地：Ringweg 50, Industriepark Roerstreek Noord 7866 6045 JL Roermond The Netherlands
主要生産品目：梱包用結束バンドの製造
設立年月：1974年1月　敷地面積：30,000㎡

Sekisui Jushi Strapping B.V.

活動報告

省エネ・廃棄物削減への取り組み

押出成形機などの生産設備を、順次インバーター式に更新していくとともに、主力製品である「印刷バンド」の生産設備（印刷機）を新規開発し、インクや危険物（主にシンナー）等の使用量を従来から約60%削減することができました。 今後も、旧型設備の更新を随時進めていきます。

安全衛生活動

消防署立ち合いのもと、工場からの出火を想定した消防訓練、および事業所への常設が義務づけられているAED（自動体外式除細動器）の使用訓練を継続して実施しています。これらの訓練を行うことで、災害時に対処すべき一連の動作を習得することができ、従業員の安全衛生意識の更なる向上につながりました。

AED使用訓練の様子

Sekisui Jushi(Thailand) Co.,Ltd.（タイ）

所 在 地：700/743 Moo 1 Amata Nakom Industrial Estate,Tambol Panthong Amphur Panthong, Chonburi 20160,Thailand
主要生産品目：自動車部品関連製品の製造・販売及び射出成形金型の製造・加工・販売
設立年月：2004年1月※　敷地面積：32,000㎡
※2011年7月より当社グループに参入

Sekisui Jushi (Thailand) Co.,Ltd.

活動報告

省エネ・節電への取り組み

節電への取り組みとして休憩時に事務所の消灯を実施しています。また、タイ政府のエナジーセービング活動の要求に基づき、工場内の蛍光灯をLEDに変更した場合のコスト試算や一部にLEDを設置して実際の明るさを確認しました。

安全衛生活動

外部講師による消防訓練を継続的に実施しています。各部門の選抜者による初期消火講習及び、消火訓練の後、全従業員による避難訓練を実施し、火災発生・警報機作動・避難・集合・点呼・確認の訓練を行っています。また夜勤者の避難訓練も実施しています。

消防訓練の様子

夜勤者の避難訓練の様子

CCCF活動

工場内外の危険箇所を各部門で自主点検して改善していくCCCF活動（Completely Check Completely Find Out Safty Activity）を継続して実施しています。

CCCF活動の様子

Summit Strapping Corporation（フィリピン）

所 在 地：Phase Ⅱ Lot 11 Carmelray Industrial Park Canlubang, Calamba, 4027 Laguna, Philippines
主要生産品目：梱包用結束バンドの製造・販売
設立年月：1997年3月　敷地面積：31,600㎡

Summit Strapping Corporation

活動報告

省エネ・廃棄物削減への取り組み

倉庫内の白熱電球をLED電球へ交換するなどの節電への取り組み、オフピーク電力の積極利用や製造ライン立ち上げ方法の見直しによりピーク電力の低減につとめました。また、廃棄物を分別し、資源としてのリサイクルや、原料購入時のパレットを自社製品出荷時に再利用するなど廃棄物の削減にもつとめています。

倉庫内の電球をLEDへ

安全衛生活動

年2回の火災・地震避難訓練や緊急時対策のセミナー・トレーニングを継続して実施することにより、安全衛生活動の強化に取り組んでいます。

避難訓練の様子

消火訓練の様子

品質管理活動

品質管理活動により生産設備における問題箇所を早期改善し、品質改善へとつなげています。

DATA 海外事業所の環境負荷データ

	Sekisui Jushi Strapping B.V.（オランダ）			Summit Strapping Corporation（フィリピン）			Sekisui Jushi (Thailand) Co.,Ltd（タイ）※		
	2011年度	2012年度	2013年度	2011年度	2012年度	2013年度	2011年度	2012年度	2013年度
CO_2排出量（トン）	3,086	3,160	3,192	1,956	2,170	2,140	／	2,862	2,742
廃棄物排出量（トン）	35.00	30.00	40.00	35.70	40.45	46.56	／	200.20	190.02

※2011年7月より当社グループ参入のため、2012年度よりデータ取得の対象としました。

	青島積水樹脂有限公司（中国）			無錫積水樹脂有限公司（中国）		
	2011年度	2012年度	2013年度	2011年度	2012年度	2013年度
CO_2排出量（トン）	97	126	124	871	883	721
廃棄物排出量（トン）	14.00	14.00	10.00	4.00	2.00	1.00

環境報告

社会性報告

これからも社会から信頼され続ける企業であるために

積水樹脂グループは企業の社会的責任(CSR)を果たすため、企業人としてどのように行動すべきかを定めた「積水樹脂グループ企業行動指針」に基づき、CSR活動を進めています。

積水樹脂グループ企業行動指針

＜人権の尊重＞

1. 国内・外を問わず人権を尊重し、平等・公平に行動するとともに、従業員のゆとりと豊かさを実現し、安全で働きやすい職場環境を確保します。

＜社会的責任＞

2. 顧客のニーズにかなう安全な製品・サービスを提供するとともに、正しい製品情報を適確に提供し、顧客の信頼と満足を獲得します。
3. 公正かつ適正な取引関係の上に取引先との信頼関係を築き、相互の発展を図るとともに社会的信頼を高めます。
4. 株主はもとより、広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を積極的かつ公正に開示します。

＜法令等の遵守＞

5. あらゆる企業活動において法令・社内ルール等を遵守し、公正な企業活動を遂行します。
6. 個人情報や会社の機密情報は厳正に管理します。
7. 政治・行政とは健全かつ透明な関係を維持します。

＜反社会的勢力への対応＞

8. 社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体とは関係をもちません。

＜社会・環境との調和＞

9. 国内・外を問わず、その文化や習慣を尊重し、地域社会との共生を目指します。
10. 環境問題への取り組みは企業の存在と活動に必須の要件であることを認識し、積極的に推進します。

2014年4月　第1回目 大阪府堺市

青少年の育成を目的とした「積水樹脂サッカースクール」

2013年度に東日本を中心に開催した「積水樹脂サッカースクール」を、2014年度は西日本を中心に開催し、青少年育成に向けた取り組みを継続しています

全国3ヵ所(大阪府堺市、山口県大島郡周防大島町、鹿児島県鹿児島市)の当社人工芝の納入グラウンドにおきまして、元サッカー日本代表の釜本邦茂さんを講師とする「積水樹脂サッカースクール」を、地域のサッカークラブに所属する小学生を対象に開催しました。子供たちやその保護者をはじめとする地域のみなさんに喜んでいただくとともに、当社の人工芝への理解を深めていただく貴重な機会となりました。

第1回目開催(大阪府堺市)

日時:2014年4月27日(日)
場所:J-GREEN堺

第2回目開催(山口県大島郡周防大島町)

日時:2014年5月31日(土)
場所:長浦スポーツ海浜スクエア

第3回目開催(鹿児島県鹿児島市)

日時:2014年7月13日(日)
場所:鹿児島ふれあいスポーツランド

2013年度の開催実績

回 次	開催日	場　所	参加者数
第1回目	2013年 4月20日	京都府京都市　宝が池公園運動施設球技場	約200名
第2回目	2013年 7月25日	宮城県石巻市　上釜ふれあい広場サッカー場	約100名
第3回目	2013年 7月26日	北海道札幌市　東雁来公園サッカー場	約150名
第4回目	2013年11月10日	大阪府吹田市　万博記念公園サッカー場	約300名

様々な社会貢献活動を通して、社会との絆を深めていきます

事業と関連する社会貢献活動

交通遺児育英会への寄付を継続

2011年より、交通安全に携わる企業として「公益財団法人交通遺児育英会」に対し、車線分離標「ポールコーン」の収益の一部を寄付する取り組みを継続して行っています。この活動が認められ、2年連続（2012年、2013年）で褒状を授かりました。

褒状授与の様子

公益財団法人 交通遺児育英会ホームページアドレス http://www.kotsuiji.com/

車線分離標「ポールコーン」

道路上のゼブラゾーンや中央線上などに設置する柱状の製品で、走行レーンの明示、車線の分離、カーブ地点などでの視線誘導を行います。本体はウレタン製で車両の接触時にも速やかに自立復帰します。開発、製造開始から四半世紀を経過し、その高い復元性能や視認性からご好評いただいている、交通安全用品の主力製品です。

ポールコーン

ポールコーンガード

ポールコーン（奥）
ポールコーンルミ（手前）

ポールコーン製品ホームページアドレス http://www.sjc.gr.jp/traffic/product/preservation.html

地域社会への貢献

「千年希望の丘植樹祭2014」に参加

東日本大震災において津波による壊滅的な被害を受けた宮城県岩沼市で、2014年5月に「千年希望の丘植樹祭2014」が開催され、当社東北支店と東北積水樹脂㈱の従業員が参加しました。岩沼市では、大自然の力を完全に防御するのではなく、自然と共存しながら災害時の被害をいかに最小限に食い止めるかという「減災」の考え方を基本に、まちづくりが進められています。植樹祭では「1000年先の子供たちへ10万本の植樹」を合言葉に、市民の皆様とともに活動を行いました。

植樹祭の様子

清掃・美化運動

当社グループの各生産事業所では、事業所近辺のゴミ拾いや、道路沿いに花を植える「道の里親制度」の取り組みを定期的に実施しています。

清掃・美化運動の様子（土浦つくば工場）

道の里親制度（石川工場）

地域の行事への参加・協賛

各事業所の立地する地域で行われている行事に参加・協賛することで、地域社会とのコミュニケーションをはかっています。

■主な地域社会への協賛
- ほたる祭り（長野県上伊那郡辰野町）
- ふれあい東城祭り（広島県庄原市）
- 祖生ふるさとまつり（山口県岩国市）

TABLE FOR TWOプログラムへの参加

当社の大阪本社及び近畿・北陸支店は、「TABLE FOR TWOプログラム」に参加しています。対象となる食事や飲料を購入するだけで、購入金額の一部をTABLE FOR TWOを通じて、アフリカの子どもたちの給食として、気軽に寄付することができます。

BOOK MAGICへの参加

大阪本社では、2011年8月から、「BOOK MAGIC」を定期的に行っています。「BOOK MAGIC」とは、不要な本やCDを売却し、その売上をNPO法人JENに寄付することで開発途上国の教育サポートプログラムに役立ててもらう取り組みです。

献血活動

当社の滋賀工場が、献血活動に積極的に貢献したことにより、2013年7月に厚生労働大臣より感謝状をいただきました。

感謝状授与の様子

皆様とのコミュニケーションをCSR活動に活かしています

地域の皆様とのコミュニケーション

滋賀工場「道夢道」見学会の実施

2013年11月、当社滋賀工場において、竜王小学校のみなさんを対象に「道夢道」見学会を開催しました。見学会を通じて、交通安全について楽しく学んでいただきました。

「道夢道」見学会の様子

「道夢道(どうむどう)」とは
「道夢道」は、交通安全製品や景観資材の性能・品質を実際の条件の下で実験する研究施設です。安全で快適、美しい環境づくりに求められる高品質な製品の開発・生産にとって欠くことのできない施設です。

工場見学会の実施

地域のみなさんに、工場の活動や環境への取り組み等を理解していただくために、各生産事業所において工場見学会、製品説明会、就労体験を随時実施しています。

東北積水樹脂㈱　職場体験学習の様子

ステークホルダーの皆様への情報発信

環境・社会報告書の発行

2002年度より環境への取り組みと実績を掲載した「環境報告書」を発行しており、2005年度より社会的活動の報告を加え、「環境・社会報告書」として発行しています。

環境・社会報告書のご紹介ホームページアドレス
http://www.sekisuijushi.co.jp/environment/index.html

グローバルなコミュニケーション

国際プラスチック・ゴム専門見本市「K2013」へ初出展

「K2013」は、プラスチック・ゴム業界のイノベーションのためのイベントで3,000社以上の企業が出展し、世界各国の関係者が来場する世界最大級の展示会です。当社ブースでは、オレンジウッド・テンダーウッドなどの人工木材、プラメタル、メタカラー建材、キャップアイシステムなどを展示しました。製品についてたくさんのご質問をいただき、海外のお客様との貴重なコミュニケーションの機会となりました。
(2013年10月 ドイツ デュッセルドルフ)

初出展

国際プラスチック・ゴム専門見本市「K2013」の様子

「インタートラフィック・アムステルダム2014」への出展

世界のお客様とのコミュニケーションの機会として、45カ国以上から800以上のブースが出展される世界的な交通見本市である「インタートラフィック・アムステルダム2014」に、2014年も継続して、当社の交通安全製品を出展しました。
(2014年3月 オランダ アムステルダム)

通算9回目

「インタートラフィック・アムステルダム2014」の様子

お客様とのコミュニケーション

「環境展2014」に出展

積水樹脂プラメタル(株)が、「環境展2014」に出展しました。「環境展2014」は、環境技術・サービスの情報発信の場でありアジア最大級の規模となっています。同社は、吸音材を内蔵した騒音対策用防音仮囲いパネルなどを展示し、多くの来場者の皆様からご好評いただきました。

「環境展2014」の様子

株主・投資家の皆様とのコミュニケーション

決算説明会の実施

当社は、証券アナリスト、ファンドマネージャーなどの機関投資家の皆様に対する決算説明会を年2回開催しています。2013年度の決算説明会では、代表取締役より、決算内容や年度計画、中期経営計画の進捗状況などについての説明を行いました。機関投資家の皆様からは、当社の今後の事業展開について、たくさんのご質問をいただきました。

従業員と会社が成長できる組織風土づくりにつとめています

人権を尊重した企業経営

人権の尊重

企業活動の根幹をなすのは「ひと」であり、企業の内外を問わず、その活動に関わるすべての人の人権を尊重し、これを守ることは、企業の使命です。当社グループでは、基本的人権の尊重の精神を遵守していくため、様々な研修を通して、人権問題の理解と啓発に取り組んでいます。

健全な労使関係

各事業所にて労務委員会を定期的に開催し、従業員の意見・要望が活かされるようつとめています。また、全従業員を対象に仕事へのやりがいや職場環境、人事制度に対する「自己申告」を実施し、寄せられた声から、組織の持つ強み・弱み、改善点を明らかにし、各種制度や施策に反映させています。

快適な職場環境づくり

ワーク・ライフ・バランスの推進

従業員一人ひとりの仕事と家庭との両立を支援し、多様な職場環境づくりを進めることにより、企業の持続的発展に貢献することを目指しています。年次有給休暇取得の推進を目指した「リフレッシュ休暇制度」や「育児休暇制度」、「育児短時間勤務制度」など、ゆとりと働きがいのある職場環境を創出しています。

今後も、従業員一人ひとりのワーク・ライフ・バランスを重視した職場環境づくりに取り組みます。

定年後の再雇用制度

定年退職者を対象に65歳まで再雇用する制度を設けています。働く意欲があれば、培ってきた知識・技術・能力を十分に活かすことができ、再雇用者と会社の双方にメリットがあります。また、定年後はゆとりある生活をしたいという従業員の声を尊重し、勤務日数や時間を選択できる「サムタイム勤務制度」も設けています。

障がい者雇用

障がいのある方への雇用機会拡大と職場定着を目指し、障がい者と職場が相互に協力して能力を発揮できる環境を、今後も継続して整えていきます。

TOPICS 「アドヘヤ会」活動報告

アドヘヤ会は、当社の従業員同士の親睦団体です。毎年運動会や慰安旅行などを企画・開催しています。2014年も恒例の関西地区アドヘヤ会（本社・近畿・滋賀）主催による大運動会が大阪府の万博記念公園にて開催されました。当日は、従業員の家族も多数参加し、大変にぎやかで楽しい運動会となりました。

運動会の様子

従業員・組織の活性化

仕事に誇りを持ち、自らチャレンジできる環境整備を推進

コース転換制度

女性の活躍を推進する施策のひとつとして、2013年よりコース転換制度を導入しています。入社時は、主に定型的な業務やサポート業務を行う一般職（地域限定）でも、能力と意欲次第で事業の運営の基幹となる事項に関する企画立案、営業、研究開発等を行う総合職（全国転勤あり）へのコース転換を可能とする制度です。

社内表彰制度

従業員の業務活動への意欲や成果を引き出すために、業績に貢献した従業員に対して創立記念業績表彰を実施しています。

創立記念業績表彰式の様子

多面観察調査

従業員の自己啓発をはかる施策として、「多面観察調査」を実施しています。この調査では、自分の「特性」や「強み・弱み」などを客観的に認識できることから、本人に「気づき」を与え、自己成長する機会を提供しています。

社内公募制度

従業員のモチベーションを向上させ、高い成果を期待するには、会社のニーズにおける異動だけでなく、本人の意志・適性とのマッチングをはかることが大切です。当社では、"自らチャレンジできる"異動・配置の施策として「社内公募制度」を導入しています。

人材育成

個々の可能性を引き出す人材育成

SJC塾

当社グループの将来を担う人材の育成が目的の「SJC塾」では、経営マネジメントや経理知識、マーケティングなど経営全般にわたる幅広いテーマで講義が行われます。グループ会社を含む従業員の中から、公募により選抜された塾生（毎年45名程度）は、職級別に3組に分かれ、年間を通じて全3回（12日程度）の講義を受講します。「積水樹脂グループによる、積水樹脂グループのため」を実践すべく、毎回ゲストとして社外講師をお迎えするとともに、社長をはじめ経営陣自らが教鞭を執るなど「手造り」が特長です。

SJC塾の様子

海外研修制度

海外事業展開を担う人材の計画的な育成を目的に、2012年度より海外研修制度を導入しています。国際舞台で活躍したいと考える若手従業員が対象です。毎年、公募により選抜された従業員を、3～6ヵ月の期間、海外関係会社等へ派遣しています。

派遣先（Sekisui Jushi (Thailand)Co., Ltd.）での様子

全従業員が健康で安全に事業活動を推進できるよう、職場環境づくりに取り組んでいます

積水樹脂グループ安全衛生方針

積水樹脂グループ全従業員が健康で安全に事業活動を推進できるよう、職場環境づくりに取り組みます。

指針1
全従業員が「安全最優先」のもと行動します。

指針2
労働安全衛生に関連する法令及び各事業所で規程されるルールを遵守します。

指針3
安全衛生活動の継続的改善に努めます。

労働災害の発生状況

2013年度は、当社グループ全体で休業災害が1件、不休災害が2件発生しました。
災害が発生した事業所では、原因を分析・究明するとともに直ちに再発防止対策を講じています。

データ編：度数率・強度率の5年間の推移は49ページ

主な取り組み

全社を挙げての安全衛生活動

当社グループ全社を挙げて労働災害の撲滅に取り組んでいます。2013年度は「積水樹脂グループ年末年始無災害運動」を展開し全従業員への周知徹底、場内パトロール、防火点検等の安全活動の強化を行いました。

積水樹脂グループ共通無災害運動ポスター

交通安全への取り組み

従業員の通勤・出張時の交通事故を撲滅するため、安全運転診断や、安全運転講習会、交通KYなどを実施し、安全運転技術の向上に繋げています。

安全運転診断

心身の健康管理の推進

全ての従業員が健康を維持していけるように、年一回の法定検診、35歳以上の従業員には法定項目に加え、より詳細な検査項目での健康診断を実施しています。また、保健師による定期的な健康相談や、生活習慣病の予防・改善を目的としたセミナーを実施するなど、従業員の健康維持・増進を支援しています。

外部機関による安全診断

外部機関による安全診断を、毎年、主要生産事業所を対象に実施しています。この診断で発見された不具合・指摘事項については、水平展開を含めて、速やかに是正を行い、不安全箇所の撲滅、安全な職場づくりに役立てています。

外部機関による安全診断

TOPICS　安全表彰「山口労働局長表彰 奨励賞受賞」

サンエイポリマー(株)が労働安全衛生活動への積極的な取り組みを認められ、2014年7月1日に山口労働局長表彰奨励賞を受賞しました。労使協力しての安全意識の向上と改善活動の成果です。

品質管理委員会を設置し、製品の品質向上に取り組んでいます

推進体制

品質管理委員会を設置しています

各生産事業所ごとに品質管理委員会を設置しています。この委員会では、品質改善やお客様に満足していただける製品作りのため、年度ごとに品質目標、重点実施項目、推進計画を定め、実施状況の管理・フォローを行っています。

品質マネジメントシステム体制

主要生産事業所では、ISO9001に基づく品質マネジメントシステムを構築し、認証登録を継続しています。

データ編：ISOの認証取得状況は50ページ

主な取り組み

製品品質の評価・改善

大規模試験走路「道夢道」には、「走路試験機」や「落錘試験機」、「音響測定試験棟」などの大型試験設備があります。製品開発では、これらの試験機を活用し、実物での製品安全性や耐久性の検証を行い、製品品質の評価・改善を行っています。また、R&Dプラザでは、各種分析装置、耐久性試験機等を備え、素材レベルでの性能評価を行っています。

マイクロスコープによる耐久性評価の様子

クレームへの対応と再発防止

お客様からのクレームは、各営業部門にて受け付けた後、品質管理部門、製造部門、技術スタッフ部門が協力して再発防止のための調査・実施を行っています。再発防止対策の実施後は、効果の確認を行い対策の妥当性を検証しています。

品質情報の共有化

クレーム発生状況やＰＬ情報については、社内イントラネットを活用し、品質管理情報として共有化しています。また、公的な認証等を取得している製品の情報についても開示しています。

PL事故予防

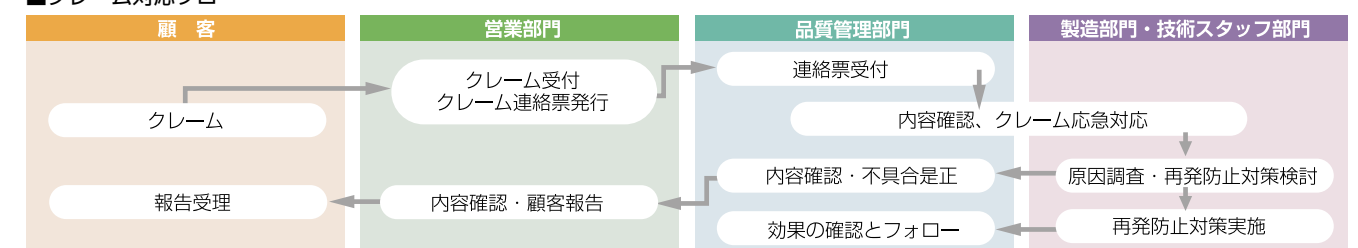
PL法は、製造物の欠陥によって、人の生命、身体、財産に被害が生じた場合に、製造業者に損害賠償責任を課するものです。PL事故予防のために、以下の取り組みを行っています。

（1）製品開発段階での危険性予測
製品に潜在的に存在する危険性を製品化の各段階でチェックし、製品設計に反映させています。

（2）取扱説明書・カタログのPLチェック
「取扱説明書作成ガイドライン」を整備し適切な取扱説明書の作成に役立てています。また、取扱説明書・カタログの表示を事前にチェックし、使用者へ正しい安全情報を提供することにつとめています。

（3）PL社内監査
PL社内監査を毎年実施しています。PL事故予防への取り組み状況について監査し、不具合事項があれば改善の指示・指導を行っています。

■クレーム対応フロー

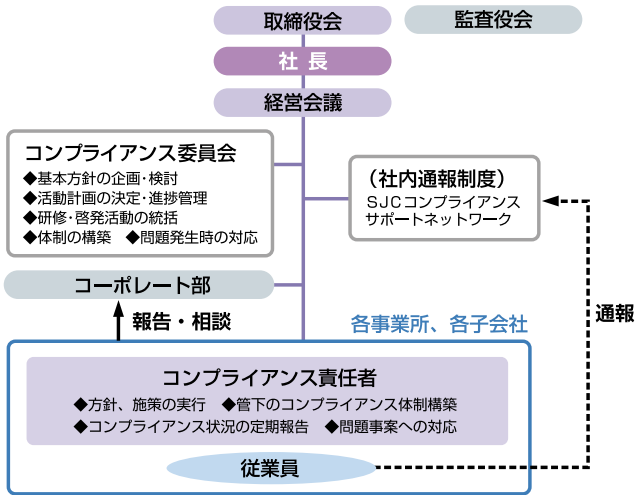
社会性報告

経営基盤であるコンプライアンス、コーポレートガバナンス、リスクマネジメント体制の強化をはかっています

コンプライアンス

コンプライアンスの考え方

積水樹脂グループは、コンプライアンスを「法令や社内ルールを守ることはもちろん、企業倫理に基づき誠実に行動すること」ととらえ、一人ひとりが、日々の業務の中でコンプライアンスを実践しています。

コンプライアンス体制

当社グループのコンプライアンスについては、「コンプライアンス委員会」が統括・推進するとともに、各事業所および子会社に「コンプライアンス責任者」を置き、体制の維持・強化をはかっています。また、不正、違法、反倫理行為の早期発見と迅速な是正のために、当社グループの全役員・従業員が利用できる「社内通報制度」を導入しています。

コンプライアンス定期報告

コンプライアンスに関する問題の未然防止・早期発見をはかるとともに、全社的な施策の検討・実施に活用するため、「コンプライアンス委員会」が各事業所および子会社の「コンプライアンス責任者」から活動状況や課題等の報告を定期的に受ける体制を構築しています。

TOPICS 映像教材（ミニドラマ）を使った職場勉強会

日常業務の場面を通じて、コンプライアンスについて考えてもらうことを目的として、映像教材（ミニドラマ）を使用した職場勉強会を年2回実施しています。各事業所でコンプライアンスについて議論をすることでコンプライアンス活動への参加意識を高めています。2012年から開始し、これまでに合計4回実施しています。

コンプライアンスに関するアンケートを実施

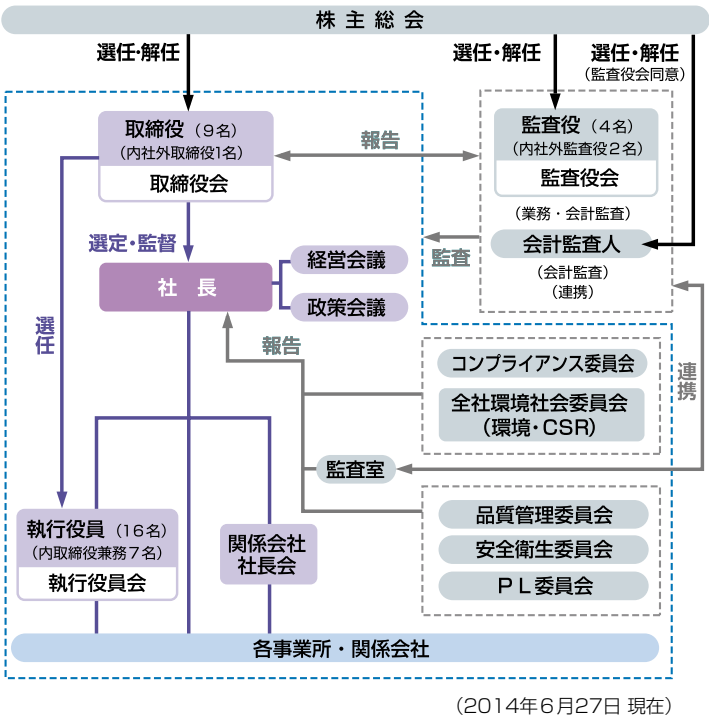
2013年8月に、全従業員を対象として、コンプライアンスに関するアンケートを実施しました。従業員一人ひとりに配布した「コンプライアンス解説ハンドブック」の活用状況や、コンプライアンスの実践上特に気をつけている分野についての調査を行い、アンケートの結果を施策に反映しています。

コンプライアンス解説ハンドブックの一部

コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンス体制

当社では、経営責任を明確にするため、取締役の任期を1年としているほか、社外取締役を選任し、取締役会における監督機能の強化と意思決定の強化をはかっています。また、取締役会が決定した方針を適確・迅速に執行するため、「執行役員制度」を導入しているほか、取締役会の効率性を確保するため、「経営会議」において、十分な事前審議を行っています。「経営会議」は、原則として、常勤取締役および議長から指名された執行役員にて構成され、常勤監査役が出席のもと毎月1回以上開催しています。監査役会は、4名で構成しており、うち2名が社外監査役です。監査役会は定期的に開催され、監査結果等について報告・意見交換がなされています。

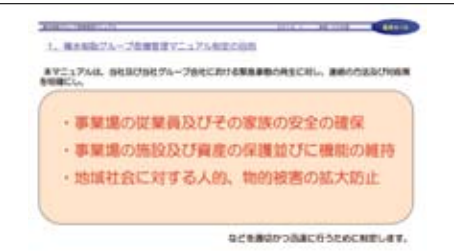
（2014年6月27日 現在）

リスクマネジメント

リスク管理体制

事業活動におけるリスクの発生を防止し、また、リスクが顕在化した場合に、迅速・適確な対応を行うためには、リスク管理体制の構築が不可欠です。当社グループは、経営会議で定められた方針に基づき、「品質」、「安全」、「環境」については、それぞれ該当する委員会においてリスク管理を行っています。また、他のリスクに関しては、各担当部署において業務上のリスクを認識し、リスク対応策を講じています。

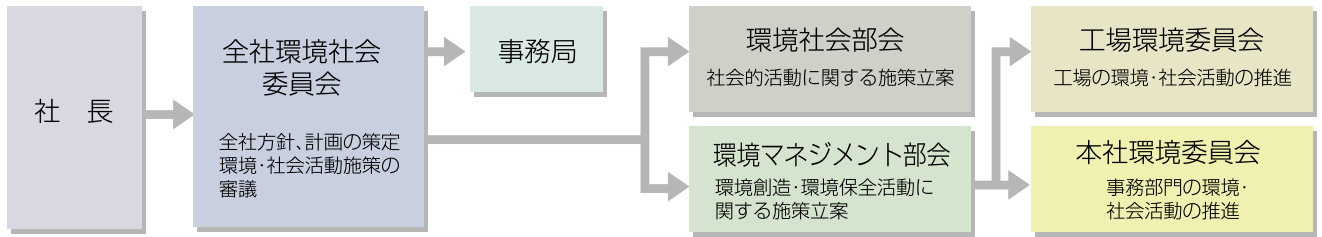
項目	委員会名称	委員会の取り組み
品質	品質管理委員会	製品の品質管理に関する取り組みの推進
安全	安全衛生委員会	労働安全衛生、環境に関する取り組みの推進
環境	全社環境社会委員会	環境・社会活動に関する全社方針・計画策定・施策の審議

危機管理マニュアル

当社グループを取り巻くリスクが現実となった場合の連絡や対応の手順を明確にし、社会に対する責任を果たすとともに、会社の被害・損失の最小化と企業活動の早期回復をはかるため、「危機管理マニュアル」を定めています。このマニュアルでは、大規模自然災害、製品事故、違反など個々のリスクに応じて、それぞれの対応の具体的な手順を定めています。なお、当社をとりまく環境の変化に対応するため、必要に応じて、このマニュアルの内容を見直しています。

危機管理マニュアルの一部

データ編

環境推進体制

環境活動にあわせて社会的活動を総合的に推進するため、環境マネジメント部会において環境創造・環境保全活動に関する施策を、環境社会部会において社会的活動に関する施策を立案する体制としています。立案された施策は全社環境社会委員会において審議・決定され、施策は各事業所に伝達されて推進・実行されます。

環境活動のあゆみ

1998年	「環境経営理念」・「環境経営方針」を制定 環境経営革新運動「JEEEP」を導入
2000年	環境経営革新運動「JEEEP」の業績優秀者を表彰する制度を開始
2001年	「環境経営推進委員会」を設置 「環境経営推進委員会」を受けて「全社環境委員会」を設置 滋賀工場、石川工場、土浦つくば工場においてISO14001の認証を取得 第1次環境3ヵ年計画を策定 地球環境調和型製品基準を制定 グリーン購入基準（事務用品）を制定
2002年	環境会計を導入 環境報告書の発行を開始 石川工場においてゼロエミッションを達成 グリーン購入基準（資材）を制定
2003年	環境社内監査を開始 紙巻（コア）のない自動梱包用結束バンド「コアレス」が平成15年度資材循環技術・システム表彰 「財団法人クリーンジャパンセンター会長賞」を受賞 滋賀工場、土浦つくば工場においてゼロエミッションを達成 第2次環境3ヵ年計画を策定
2004年	広島東城工場、積水樹脂プラメタル㈱、東北積水樹脂㈱においてISO14001の認証を取得 広島東城工場、積水樹脂プラメタル㈱、東北積水樹脂㈱においてゼロエミッションを達成
2005年	環境面のみならず、社会面への取り組みを推進するため、全社環境委員会を「全社環境社会委員会」に変更 非生産部門の環境活動強化のため、工場環境委員会と並列して「本社環境委員会」を新設
2006年	本社・事業部、スペーシア㈱においてISO14001の認証を取得 第3次環境3ヵ年計画を策定
2007年	関東積水樹脂㈱、積水樹脂電子テクノ㈱、ロードエンタープライズ㈱、積水樹脂プラメタル㈱関東工場において ゼロエミッションを達成
2008年	本社部門ISO14001活動において、関東支店を取得拡大 積水樹脂産商㈱、宮崎積水樹脂㈱においてゼロエミッションを達成
2009年	積水樹脂産商㈱にてFSC認証を取得 「地球いきもの委員会」の活動への協賛 第4次環境3ヵ年計画を策定
2010年	2010年を社会貢献元年と位置づけ各分野に対する社会貢献活動を推進 滋賀工場が滋賀県蒲生郡日野町、錦向生産森林組合と「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を締結
2011年	積水樹脂プラメタル㈱が長野県上伊那郡辰野町と「森林（もり）の里親協定」を締結
2012年	石川工場が石川県能美市、道林釜屋山林組合、根上森林連合会、石川県南加賀農林総合事務所と 「企業の森づくり推進事業協定」を締結
2013年	第5次環境3カ年計画を策定 「SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク」への参画

環境会計

積水樹脂グループは環境保全活動に要した費用、それから得た環境保全効果とそれにともなう経済効果を定量的に把握し、評価することで、より効率的な環境保全活動の推進をはかっています。環境会計の手順については、環境省の「環境会計ガイドライン」をもとに当社グループ独自の考えを加えて、共通の環境会計手順書を定めています。また、データの精度向上のために、この手順の見直しを行い、各データの算出と集計を行っています。

■ 環境保全コスト

（単位／百万円）

項目			2011 年度		2012年度		2013年度	
分類		主な取り組み内容	投資額	費用額	投資額	費用額	投資額	費用額
（1）事業エリア内コスト	①公害防止コスト	公害防止対策	2	20	1	18	10	18
	②地球環境保全コスト	温暖化防止対策	47	49	67	72	74	55
	③資源循環コスト	資源投入量の削減 廃棄物の削減	21	77	10	88	31	78
（2）上・下流コスト		グリーン調達 地球環境調和型製品の特注設計	0	11	1	13	0	7
（3）管理活動コスト		環境マネジメントシステムの構築・運用 環境教育 緑化・美化・清掃活動	0	48	0	50	0	51
（4）研究開発コスト		地球環境調和型製品の研究・開発	14	145	27	97	22	118
（5）社会活動コスト		環境関連展示会への出展	0	8	0	6	0	6
（6）環境損傷対応コスト		土壌汚染、自然破壊等の修復	0	0	0	0	0	0
合計			83	358	106	344	136	331

（単位／百万円）

項目	2011年度	2012年度	2013年度
当該期間の投資額の総額	798	895	1,988
当該期間の研究開発費の総額	938	962	902

■ 環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス	2011年度		2012年度		2013年度	
		2011年度実績	環境保全効果（10年度との差）	2012年度実績	環境保全効果（11年度との差）	2013年度実績	環境保全効果（12年度との差）
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	電気使用量（千kWh）	35,818	▲4,598	36,036	218	37,559	1,523
	燃料使用量（千GJ）	111	▲ 16	113	2	114	1
生産活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	生産時のCO_2排出量（千トン-CO_2）	21	▲ 3	22	1	22	0
	廃棄物発生量 有価物除く（トン）	978	▲ 317	945	▲ 33	1,070	125

■ 環境保全対策にともなう実質的経済効果

（単位／百万円）

効果の内容	金額		
	2011年度	2012年度	2013年度
リサイクルによる有価物売却収入	23	22	25
省資源による費用削減	116	162	139
省エネルギーによる費用削減	26	14	9
リサイクルによる廃棄物処理費用削減	12	6	0
その他	0	0	0
合計	169	204	173

対象期間：2013年4月1日～2014年3月31日　集計範囲：対象事業所は以下のとおりです

①工場
●滋賀工場　●土浦つくば工場　●石川工場　●広島東城工場

②関係会社
●積水樹脂プラメタル㈱　●東北積水樹脂㈱　●積水樹脂産商㈱　●エスジェイシー寿㈱　●宮崎積水樹脂㈱
●ロードエンタープライズ㈱　●関東積水樹脂㈱　●スペーシア㈱　●サンエイポリマー㈱　●積水樹脂キャップアイシステム㈱

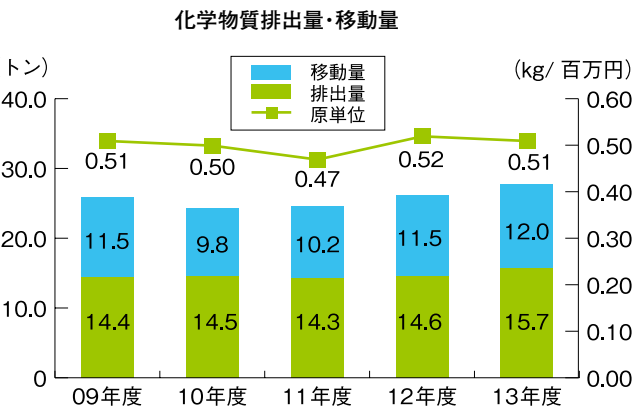
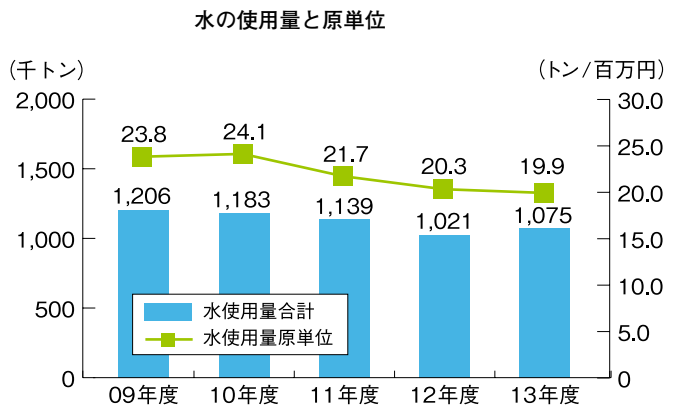
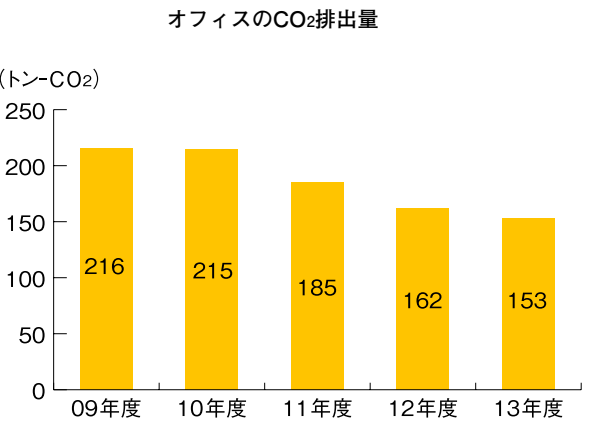
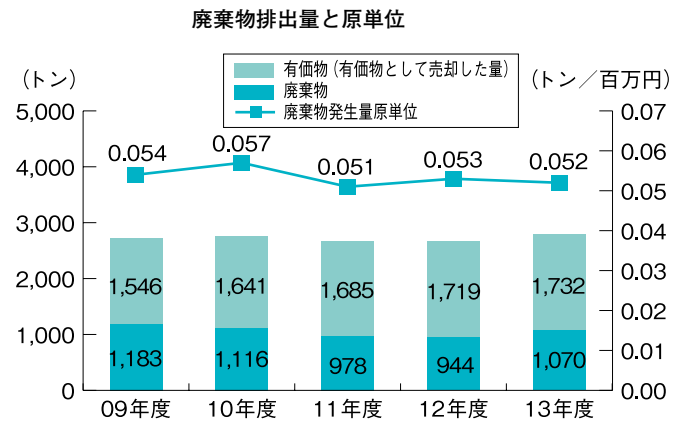
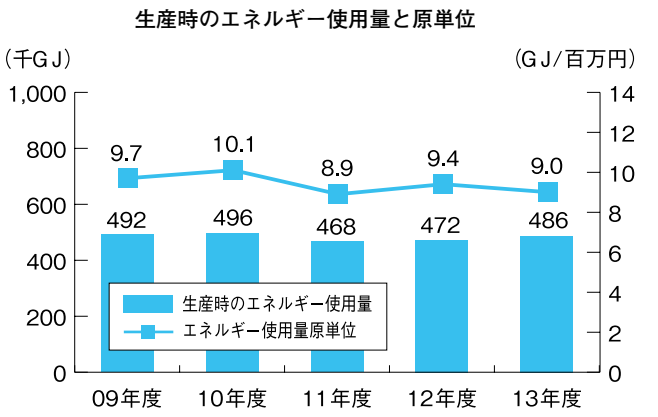
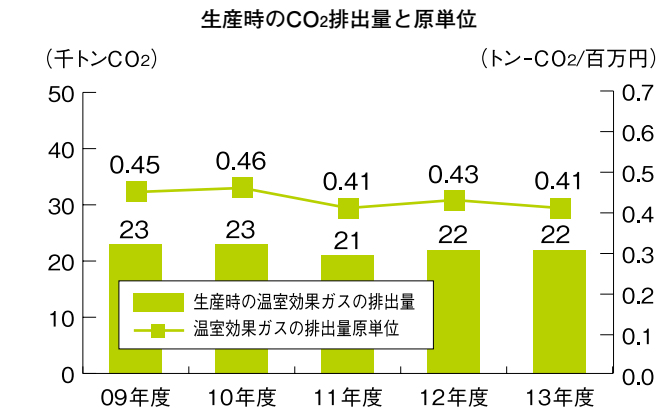
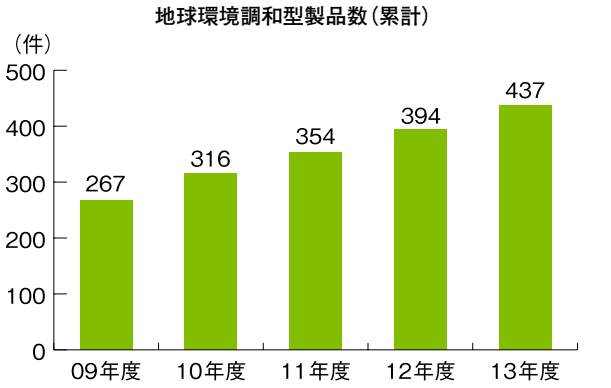
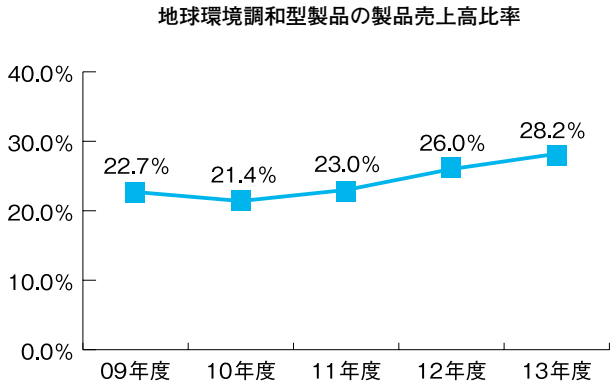
③上記生産事業所内に活動主体がある部門
●各事業本部の開発室及び開発グループ　●㈱積水樹脂技術研究所　●積水樹脂物流㈱　●オーミテック㈱
●積水樹脂電子テクノ㈱

2013年度の実績

◎：達成度100%以上　○：達成度90%以上　△：達成度90%未満

取組みの項目				第5次環境3ヵ年計画（2015年度目標値）	2013年度実績	2013年度目標	評価
事業・製品による環境貢献		地球環境調和型製品の拡大	地球環境調和型製品の売上拡大	地球環境調和型製品の売上高比率を35%以上	28.2%	29%	○
			地球環境調和型製品の開発促進	地球環境調和型新製品数50件／年以上	43件	43件	◎
事業活動における環境負荷の低減	温室効果ガス排出の削減	活動ごとのCO_2排出量削減	国内生産事業所（関係会社含む）※関係会社はオフィス部門も含む	CO_2排出量を原単位で2012年度比4.5%以上削減	4.0%	1.5%	◎
			海外生産事業所　3拠点 ·Sekisui Jushi Strapping B.V. ·Summit Strapping Corporation ·Sekisui Jushi Thailand CO.,LTD.	CO_2排出量を原単位で2012年度比3%以上削減	3.1%	1%	◎
			国内オフィス（支店営業所）	CO_2排出量を2012年度比1.5%以上削減	5.5%	0.5%	◎
		営業活動によるCO_2排出量削減	営業車（関係会社含む）	ハイブリット車、電気自動車の導入率80%	57.3%	60%	○
		省エネルギーの推進	国内生産事業所（関係会社含む）	エネルギー使用量を原単位で2012年度比4.5%以上削減	3.8%	1.5%	◎
			国内輸送時	エネルギー原単位を2012年度比3%以上削減	1.6%	1%	◎
	資源の有効活用	廃棄物削減	国内生産事業所（関係会社含む）	廃棄物排出量を原単位で2012年度比6%以上削減（場内リサイクル除く、有価含）	2.1%	2%	◎
			海外生産事業所　3拠点 ·Sekisui Jushi Strapping B.V. ·Summit Strapping Corporation ·Sekisui Jushi Thailand CO.,LTD.	廃棄物排出量を原単位で2012年度比3%以上削減（場内リサイクル除く、有価含）	0.3%増加	1%	△
			国内オフィス（支店営業所）	コピー用紙使用量を2012年度比5%以上削減	5.1%増加	1%	△
	化学物質削減	国内生産事業所		PRTR法に基づく化学物質排出量原単位を2012年度比3%以上削減	1.6%	1%	◎
生物多様性の保全	環境貢献活動	環境保全活動の拡大 従業員への環境教育カリキュラムの設定（生物多様性保全の取り組み拡大）		森林保全活動参加者（延べ人数）；300名 ·滋賀工場 ·積水樹脂プラメタル ·石川工場	150名	100名	◎
				水質保全活動参加者（延べ人数）；100名 ·滋賀工場	6名	30名	△
				海外拠点における環境保全活動の実施	タイ王国サムットソン・クラークでマングローブ植林活動を実施	·対象拠点の抽出 ·活動内容調査	◎
				事業所に生息する希少種の保護	滋賀工場に生息するカスミサンショウウオの調査・保護を開始	·希少種の調査 ·保護対象の抽出	◎
		環境コミュニケーションの拡大		自然環境保護団体との連携、および活動支援	「SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク」への参画開始	·寄付活動の継続 ·新規取り組みの調査	◎
				地域住民との環境コミュニケーションおよび環境保全活動の実施	滋賀工場において地元子供会を対象とした自然観察会実施	·活動場所調査 ·教育対象の設定 ·活動準備（安全性確保）	◎

主要な環境パフォーマンスの推移

データ編

2013年度のPRTR法 対象化学物質の排出量・移動量

PRTR法(※1)に基づく対象物質排出量・移動量の集計結果は以下のとおりです。

PRTR法 対象化学物質名	単位	2013年度実績						
		取扱量	排出量			移動量		場内無害化(※2)
			大気への排出量	公共用水域への排出	当該事業所における土壌への排出	下水道への排水の移動	廃棄物の当該事業所の外への移動	
エチルベンゼン	トン	32.2	3.7	0.0	0.0	0.0	2.4	26.1
キシレン	トン	34.5	5.5	0.0	0.0	0.0	2.2	26.8
6価クロム化合物	トン	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1，3，5－トリメチルベンゼン	トン	5.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.1	4.9
トルエン	トン	12.8	5.5	0.0	0.0	0.0	7.0	0.3
鉛及びその化合物	トン	16.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
フタル酸ビス（2－エチルヘキシル）	トン	23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メチルナフタレン	トン	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2
2,6－ジターシャリーブチル－4－クレゾール	トン	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	トン	132.9	15.1	0.0	0.0	0.0	11.8	60.3

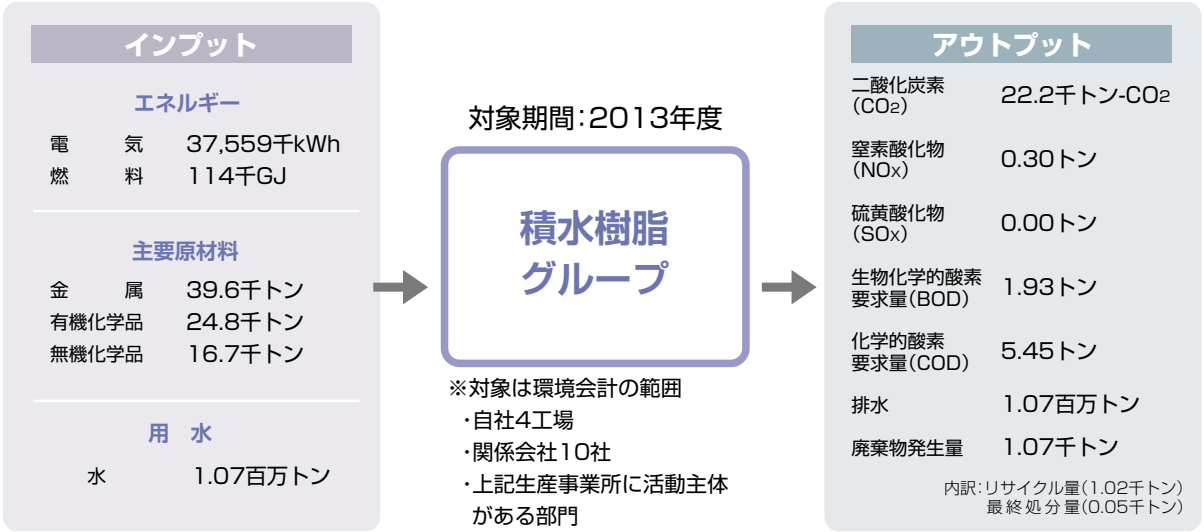
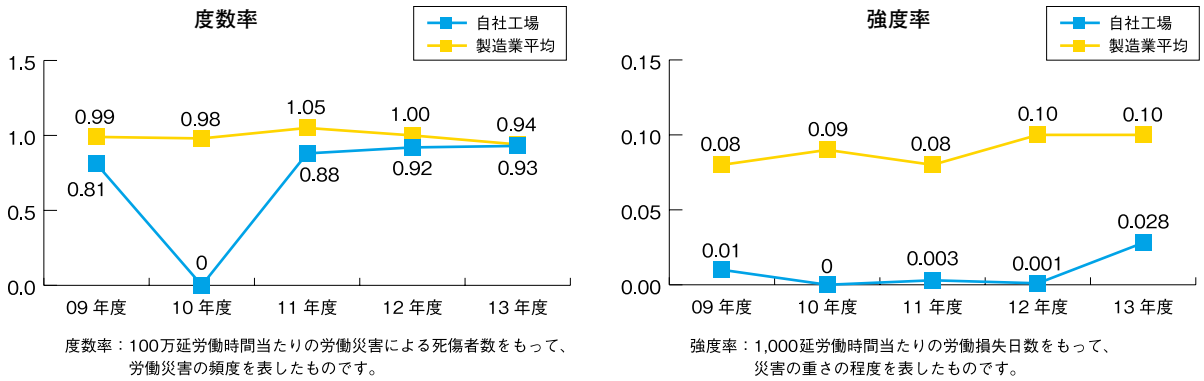
年間取扱量が全社合計で0.5トン以上のPRTR法 対象化学物質について記載

マテリアルバランス

事業活動におけるエネルギー、原材料などの「インプット」、そして環境への排出量や廃棄物などの「アウトプット」をマテリアルバランスの考えに基づき環境会計の中で集計しています。

度数率・強度率

度数率：100万延労働時間当たりの労働災害による死傷者数をもって、労働災害の頻度を表したものです。

強度率：1,000延労働時間当たりの労働損失日数をもって、災害の重さの程度を表したものです。

ISO14001認証取得状況

取得事業場名	登録年月日 登録番号	登録範囲	関連事業所
滋賀工場	2001年1月19日 JQA-EM1275	・鉄骨加工製品、塗装製品、樹脂押出成形製品の設計・開発及び製造	・滋賀積水樹脂㈱ ・積水樹脂物流㈱ ・㈱積水樹脂技術研究所 ・積水樹脂㈱開発設計部門 ・積水樹脂電子テクノ㈱ ・オーミテック㈱
石川工場	2001年3月30日 JQA-EM1487	・PPバンド、ポリエステルバンド、被覆鋼管支柱、家庭用ホース及び射出成形品の製造 ・ストレッチ包装機の設計及び製造	・北陸積水樹脂㈱
土浦つくば工場	2001年6月15日 JQA-EM1614	・路面標示材、メッシュフェンス及び手摺りの製造	・土浦つくば積水樹脂㈱つくば製造所 ・土浦つくば積水樹脂㈱土浦製造所
積水樹脂プラメタル㈱	2004年8月27日 JQA-EM4182	・建築資材、広告看板材料及び工業材料用金属・樹脂複合板の設計・開発、製造及び販売	・本社、本社工場 ・関東工場 ・東京営業所 ・大阪営業所 ・名古屋営業所
東北積水樹脂㈱	2004年12月6日 C2013-02269	・道路標識板・柱、サイン、視線誘導標等の交通安全用品の製造	
広島東城工場	2005年3月18日 JQA-EM4627	・路面標示材及び薄層カラー路面舗装材の製造 ・プラスチック擬木及び道路反射鏡の製造	・広島積水樹脂㈱
スペーシア㈱	2006年10月10日 EC 06J0142	・パイプ、部材やその加工品の製造、販売、開発	
本社・事業部	2007年1月12日 JQA-EM5661	・本社・事業本部の管理業務（秘書・経営企画・総務・人事・経理・購買・監査・知的財産権管理・デザイン・情報管理・営業管理） ・都市環境関連事業、街路・住建関連事業並びに産業・生活関連事業に関する業務	・積水樹脂㈱事業本部 ・積水樹脂㈱関東支店 ・積水樹脂コーポレートスタッフ㈱ ・積水樹脂商事㈱ ・㈱エスジェイシーテクノサービス ・積水樹脂産商㈱ ・関東積水樹脂㈱

海外事業所における取得状況　●Sekisui Jushi（Thailand）Co.,Ltd　●無錫積水樹脂有限公司

ISO9001認証取得状況

取得事業所名	登録年月日 登録番号	登録範囲	関連事業所
滋賀工場	1998年12月11日 JQA-2853	・メッシュフェンス、防護柵、防音壁、街路照明灯、シェルター、交通安全用品、樹脂押出製品、標識柱、道路反射鏡、計測器（繊維製巻尺）の設計・開発及び製造	・滋賀積水樹脂㈱ ・積水樹脂物流㈱ ・積水樹脂㈱開発設計部門 ・積水樹脂電子テクノ㈱
石川工場	1999年3月5日 JQA-3133	・PPバンド、ポリエステルバンド及びプラスチック線（エクセル線）、被覆鋼管支柱直管の設計・開発及び製造	・北陸積水樹脂㈱
土浦つくば工場	1999年8月6日 JQA-QM3615	・メッシュフェンス、路面標示材、手摺り、防音壁、防護柵の製造	・土浦つくば積水樹脂㈱つくば製造所 ・土浦つくば積水樹脂㈱土浦製造所
エスジェイシー寿㈱	2002年7月26日 Q0914	・道路標識の設計、製造および施工 ・道路付属施設（マーキング、防護柵、反射鏡）の施工	・鈴鹿営業所
積水樹脂プラメタル㈱	2003年7月25日 JQA-QMA10252	・建築資材、広告看板材料及び工業材料用金属・樹脂複合板の設計・開発、製造及び販売	・本社、本社工場 ・関東工場 ・東京営業所 ・大阪営業所 ・名古屋営業所
広島東城工場	2004年3月26日 JQA-QMA11212	・路面標示材、エポキシ樹脂を除く薄層カラー路面舗装材、プラスチック押出成形擬木、プラスチック射出成形擬木及び道路反射鏡の製造	・広島積水樹脂㈱
東北積水樹脂㈱	2007年12月6日 C2013-02268	・道路標識板・柱、サイン、視線誘導標等の交通安全用品の製造	

海外事業所における取得状況　●Sekisui Jushi（Thailand）Co.,Ltd　●Sekisui Jushi Strapping B.V.　●Summit Strapping Corp.　●Sekisui Jushi Philippines Group.　●無錫積水樹脂有限公司

（※1）PRTR法とは正式名称を「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」といいます。人の健康や生態系に有害なおそれがある化学物質について環境中への排出量及び廃棄物に含まれての移動量を事業者が自ら把握して、行政に報告し、さらに行政は事業者からの報告や統計資料を用いた推計に基づき排出量・移動量を集計・公表する制度です。

（※2）場内無害化:製造プロセスにて発生した溶剤ガスを焼却分解し無害化したものです。